団委員研修受講で気付いたこと

大薮俊一
2014/5/5

(1) ボーイスカウト運動の基盤は充実している

世界共通の規定・マニュアル・研修制度　など

(2)　他団のスカウト募集活動をヒアリングでき、発見があった

(3)　団とは？・団会議・団委員会とは？　を気付く場であった

- 団
  - ボーイスカウト教育の運営を行う単位で、各隊がスカウト教育を実施することを、一貫してまとめる場
  - 連盟・地域からの支援を受ける単位
- 団会議
  - 団の教育訓練を協議すること
- 団委員会
  - 各隊の活動を支援し、活発化し、永続させる責任
  - 団の存続を維持し、発展させること

(4)　38団で取り組むべき内容

- 数年先を目指したVision ・　長期計画を示し、団会議・隊活動で価値観を共有し、年度計画に落とし込む
- ソングがいつも2曲
- スカウツオウン

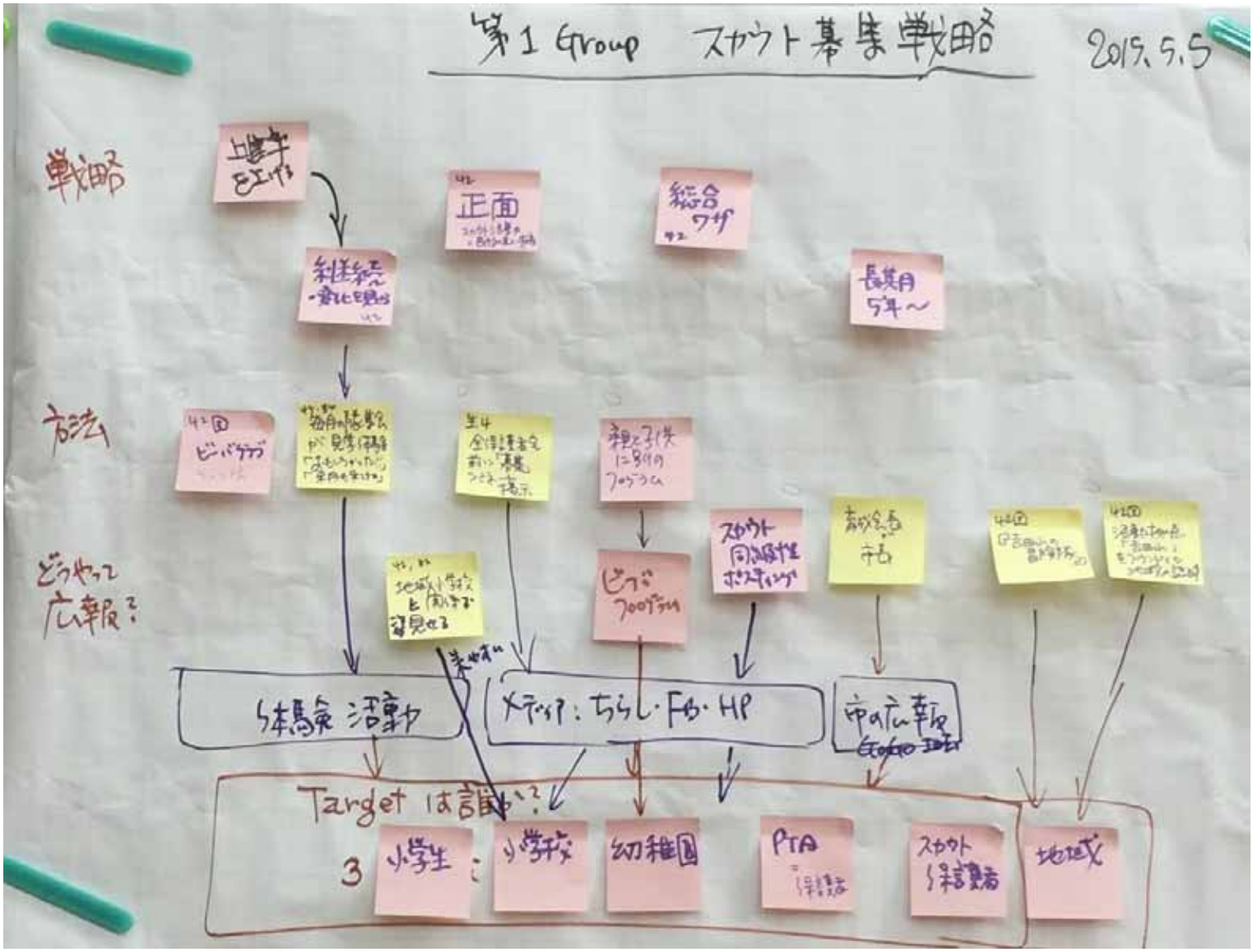
募集活動の事例研究

団	募集活動	経験則 (発見)	助言
京都11団 西田 団委員	• BV休隊・CS 3人・BS 4人・VSRS休 • 年1-2回　餅つき・夏バーベキュー • マンションにチラシ配布　反応悪い	• 入隊は、保護者・子供の口コミが一番	
京都42団 池中 副団委員長	• BV 14人・CS10人・BS 10人・VS 3人・RS 3人 • 5月末合同隊集会で、パイオニアリング的 • 12月42団祭り、幼稚園を借りてスタンツなど • 第4錦林小学校の夏祭りに継続的に出展－剣鉾 • 「吉田の森冒険隊」ブランド化 • 普段のBV/CS隊活動に体験参加を継続的に実施し「来月もおいで！」と呼びかけ。毎月のスカウトの進歩が見学保護者に見せられる • 宣伝は、FB, Blog, イベントちらしを幼稚園・小学校に配付、GoGo土曜塾 • イベント参加券学者に、団委員が丁寧に団紹介し隊長を支援。 • 隊長はプログラムの目的を明確に説明し、結果を報告することで、保護者にいい印象を与える	• 吉田山でいつもスカウト活動を行っている、と地域から認知させている • GoGo土曜塾は集客力は大だが、遠方が多く入隊にはつながっていない • 共稼ぎが多く、保育園・幼稚園の4年制など親からの手離れの要求が増えている → At Home的な雰囲気大切 • 説明会は過去行ったが、参加者少なく入隊にはつながらない • 目に見えない準備があって、今月がある • BV保護者がお客様ととらえ、団委員が手厚く応対	• 継続・長期視点 • 個々の活動では無く、総合的なPR活動の積み重ねが入隊につながっている • リクレーションでなく、スカウト活動を正面から「良き社会人としての育成」を訴え、浮ついた勧誘は行わない
生駒4団 林 団委員長	• BV 16名→23名、CS 14名、BS 12名、VS 7名、RS13名 (BV→CS 100%上進) • ラミネートの募集案内を全保護者宅に掲示 (生駒市緑地帯新興住宅) • 10月～2月、5ヶ月連続した隊集会で募集活動し「次も来たい」と言わせる。11月バザー・12月Xmas・1月たこ揚げ・2月BP祭見学者の90%が入隊 • 地域夏祭りに参加・HP・保護者からPTA経由幼稚園にもPR	• BVの方が入隊しやすい • カブスカウトが友達を誘うケースが多く、入隊率が高い • 参考：最近はスイミングスクールがバーベキュー、サッカーチームがキャンプなど広げている	
奈良2団 亀岡 副団委員長	• BV 4人・CS 12人・BS 12人 • 年3回募集イベント　-　募集活動で見学者は来るが、必ずしも入隊に結びついていない • 地域活動に支援	• 入隊は隊員のお母さんの積極的な勧誘が決め手 (団地の友人を誘う)	
京都82団 岩本 団委員長	• BV 8人・CS 5人・BS 5人　－ 3団で合同隊集会 • 修学院小学校のイベントに協力－少年補導やPTAの要請で夏祭りや秋のイベント • 修学院小学校でBV,CS隊活動－スカウト活動の認知度を高める	• 地元小学校で、スカウトユニフォームを着た活動を見せている • GoGo土曜塾はいいブランドだが、遠方など入隊につながらない • 地元小学校との協力関係作りは必要だが、学校の校長先生によって温度差あり	
京都38団 大薮	• 過去2－3回入隊説明会　→ 入隊への効果なし • 年3回の団行事に見学参加イベント • チラシを小学校に配付・GoGo・HP • 過去12名の見学参加、入隊0	• 入隊者は、スカウトの友人か、保護者が元38団	
その他　武田	• 育成会長が市長 • 小学校入学時期に募集活動し40人集客	• 世間はスカウティングとは？知らない。 問い合わせ先も知らない	

団委員研修

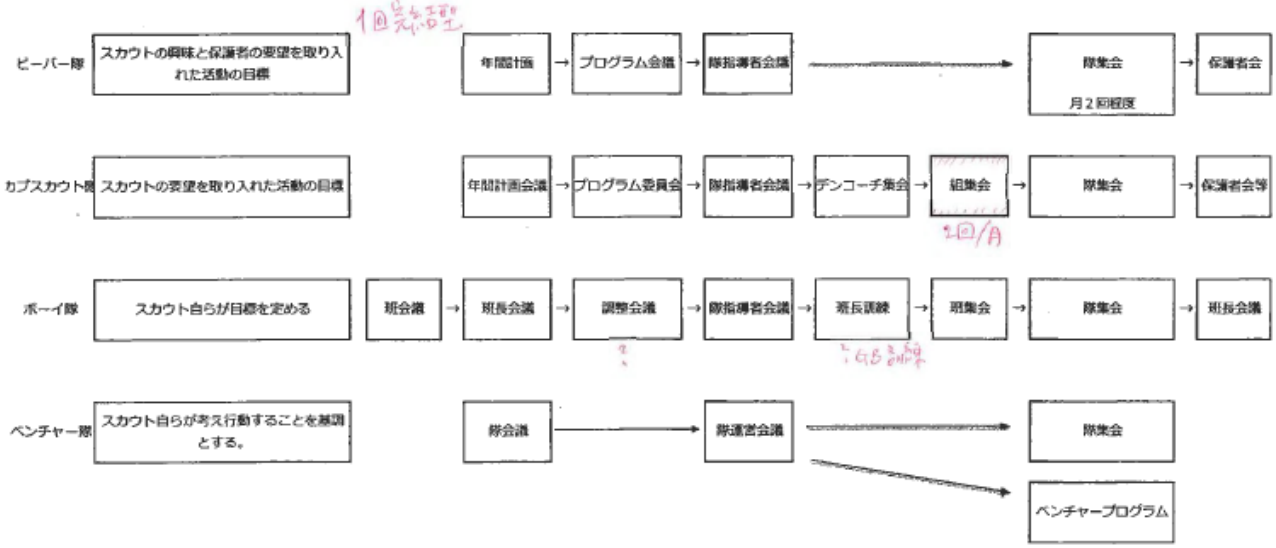
2014/April/8th

- 募集のターゲットは誰？ 広報手段?
- スカウト募集の戦略の決め手は？



- 大切なのは、現スカウトが友達を誘うぐらい、楽しいもの → 基本に忠実

隊のプログラムプロセス



大藪俊一殿

平成２７年４月１０日
団委員研修所京都第１１期
開設担当理事　猪岡敏一

団委員研修所参加決定通知

三指　日頃はボーイスカウト運動に
　さて、団委員研修所京都第１１期
貴殿を参加者として決定いたしまし
つきましては、同封の「アンケー
ますようお願いいたします。
　寒暖の差がはげしいおり、お身体
ご期待申し上げます。

同封書類：○参加決定通知書(本状)
　　○参加案内
　　○団委員研修所参加事前
　　食物アレルギーがあ
　　○参加費（４月２０日ま
　　振込が確認できない
　　○交通手段調査書

送 付 先：日本ボーイスカウト京都
　　〒601-8047　京都市南区
　　TEL：075-662-8801

履修証

大藪　俊一　様

あなたは下記の研修を履修されました

記

団委員研修所京都第11期

期間　：　平成27年5月3日～5月5日

場所　：　京都市・花背山の家

平成27年5月5日

所長　高橋一郎

公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟

手続き下さい。

振込先　：京都中央信用金庫　壬生支店　普通口座　０１４２５７６
　　日本ボーイスカウト京都連盟
　　振込依頼人名は、「キョウト ダイスケ　ダンケン 11」の様に氏名の後に記入願います。

2015/4/30　15,000　振込済

団委員研修所アンケートの記入について

1. アンケートで、人数や金額等数字を記入する設問については、できるだけ最新の情報を記入してください。

以上

団委員研修所京都第１１期参加案内

開設日時　平成２７年５月３日（日・祝）　９時００分受付開始
　　平成２７年５月５日（火・祝）　１２時００分時解散(予定)

開設場所　京都市野外活動施設　花背山の家
　　〒601-1106 京都市左京区花脊別所町３９９
　　Tel　０７５－７４６－０７１７
　　【当日緊急連絡先】
　　白樺地区委員長　猪岡　携帯０９０－１６６６－３９２８

参加費　１人　１５,０００円（事前に県連へ振り込むこと）済

服　装　制服・制帽（講義中は自由な服装で結構です）

持ち物　２泊３日の舎営ができる装備（全食給食、入浴可）
　　＊山間ですので、気温が下がる場合があります。防寒着は多めにお持ち下さい。

制服、制帽（ベレー帽）、筆記用具、着替え（自由）、寝間着、防寒着、
上履き、マイカップ(コップ)、入浴用品、持薬等、洗面具、タオル、健康保険証、
背表紙2cm程度のA4ファイル、ノート、指導者手帳、
√写真一枚（2.5cm×3.5cm：裏に「お名前をご記入願います。」）
（申込書に貼付されたものと同じもので結構です。）

必要書籍類
√ ① 日本連盟規程集(平成 26 年版)、　諸規程はPDFあり.
② ボーイスカウト歌集、　B6判 280p　504円　181曲
√ ③ 団の運営と団委員会（最新 A5 版）、
√√ ④ 基本原則、　(PDF)
√ ⑤ 安全入門、　B6判 165p　840円
√ ⑥ 団の総会資料をご持参ください。　√ 団名簿.

その他、個人の必要書籍類

その他　車でお越しの方は個人装備を降ろした後、所定駐車場に止めてください。
　　（駐車場は、会場へお越しの時に案内いたします）

以上

2015.5.2

表情に表わすこと

オリエンテーションノート

団委員研修所京都第１１期

京都市左京区・花脊山の家

平成２７年５月３日～５日

Ⅰ　服装及び携行品について

① 点検、朝礼時は制服着用。その他特に指示したとき以外は活動着等の見苦しくない程度の服装で良い。
但し、「　　名札　　」は常に着用してください。

② 参考書籍は、特に指示したとき以外はセッション時に持参します。

Ⅱ　健康・安全・衛生・防災について

① 成人として自分の健康は、自分で管理します。

② 身体の具合が悪くなったら、無理をせずに早めに「グループ担当所員」に申し出でください。

③ トイレは、セッション中でも遠慮無く「グループ担当所員」もしくは「近くの所員」に声をかけてください。

④ 入浴については、別途指示があります。　21:00～21:30

⑤ セッション中は禁煙とします。
休憩時間等の喫煙は、指定された場所で行うことを遵守願います。
指定された場所以外での喫煙は禁止します。

⑥ 施設内の利用について、原則、花背山の家の規則に従います。　シーツ・毛布・トイレスリッパ

⑦ 研修所での安全管理者は以下の通りとします。
生活・安全担当所員　　「　　川口所員　　」
大阪166.

Ⅲ　生活目標について（期間を通じて）

生活目標

1　日　目	礼儀そして親睦 スカウトは礼儀正しい 礼に始まって礼に終わる。そして、研修所初日。緊張をほぐし、参加者相互におおいに親睦を図ってください。
2　日　目	友情そして学び スカウトは友情にあつい すべての人を友としますスカウト。相手の立場や考え方を尊重し、所員も共に学びましょう。
3　日　目	感謝そして飛翔 スカウトは感謝の心を持つ この研修所に関わられた全ての人に感謝し、ここで学んだことをしっかりと実行に移して、成人指導者としてさらなるご活躍を。

3日間 20人の人と接せる.

Ⅳ　グループについて

① グループ名およびグループ内の役務分担について

グループ名とグループ内の役務分担を相談して決めて下さい。

② グループ報告書について

グループ報告書を記入し、毎朝点検前までに生活担当所員に提出して下さい。 川口.

③ 当番グループの任務について　5/3 第1

1) 指定時刻５分前集合の励行の指示と履行

2) 朝礼及びモーニングゲームの担当（計画書を今日の話題とともに提出）

3) セッション開始・終わりの合図　礼に始まり.

4) その他連絡事項等の履行

Ⅴ　点検と朝礼について

5/4 昼から 第2 Group

① キビキビした行動は、“けじめ”で始まり“けじめ”で終わる。

② 点検の３つの流れ

1.「　自分　　」での点検

2.「　グループ全員　」による点検

3.「　所員　　」による点検　川口

③ 毎日、生活担当所員が、朝礼前に参加者の健康状態等の点検を実施します。

④ 朝礼は各グループで企画、担当します。

⑤ 国旗の降納は所員が行います。　１７：００

Ⅵ　携帯電話（通話・メール・カメラ）とカメラの使用について

① セッション中の携帯電話・デジカメ（通話・メール・カメラ）の使用は原則禁止します。 ミュージック 外れば

② セッション中は携帯電話の電源を切るか、マナーモードにします。

③ 休憩時の携帯電話の使用は許可します。但し、セッション開始時までに着席できるように留意してください。

④ セッション時以外のカメラの使用については、グループ担当所員に申し出て許可を得てください。

⑤ 撮影については所員の許可を得てください、また、参加者の皆さんが了解した場合のみとします。。

ギアボックスの点検

Ⅶ　教材・教具について

セッションには、グループ内で分担した教材･備品担当者が常に持参して下さい。

Ⅵ　その他

① 施設のルールは優先です。公共の場所・青少年の体験教育の場であることを意識していただき、青少年教育運動の指導者として行動をお願いします。特別な場合は所員より連絡しますのでご承知ください。

② 貴重品は各自で管理してください。

③ セッションに関する質問・疑問は、今日の話題および質疑応答までに整理し記録しておいて下さい。

自己評価表

団委員研修所　日程表

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
第1日			受付 G編成 自主点検	開所式	§1 団委員研修所について	§2 スカウト運動の基本原則	グループタイム 昼食	§3 団の組織	休憩	§4 団委員会の組織と機能	休憩	§5 隊から求められる支援	休憩	§6 スカウトの進級と団委員会	夕食 チェックイン	§7 団会議	今日の話題
					40	60	50	60	10	60	10	90	10	60	60	90	30
第2日		朝食	朝礼	§8 団委員会の事務と業務	休憩	§9 隊指導者と団委員会	休憩	§10 育成団体と団委員会	昼食	§11 安全対策と危機管理	休憩	§12 団の年間計画	休憩	§13 団委員会と団会議の連携	夕食	今日の話題	
		30	30	90	10	60	10	50	50	90	10	120	10	130	90	30	
第3日		朝食	朝礼	§14 スカウト募集	休憩	§15 団への支援	質疑応答	閉所式									
		30	30	80	10	60	30	30									

京38団

団研京都１１期　グループ（１）　氏名（大義愛一　）

セッション名	目　標	指導上のねらいに基づくチェック項目
9.隊指導者と団委員会 （６０分） 西村伸次	1．隊指導者の選任と養成は、団委員会の責任であることを理解する。 2．隊指導者と団委員会の関係について理解する。 3．隊指導者の訓練体系について、概要を理解する。	（○）スカウト運動の成人に関する方針について、その概要が理解できましたか？ （○）隊活動の全般については、だれに、どのようにして行わせるのかが理解できましたか？　ゆっくねる （○）団委員会は、隊指導者に対してどのような権限と責任を持っているか理解できましたか？ （◎）隊指導者のための訓練がいろいろと提供されていることを理解できましたか？
１０．育成会と団委員会 （５０分） 高橋	1．育成会の組織について理解する。 2．育成会の機能と役割について理解する。 3．~~3.~~ 育成会と団委員会の関係について理解する。	（○）育成会は、団が存在するための基盤であることが理解できましたか？ （○）育成会には、具体的にどのようなものがあるか理解できましたか？ （○）育成会の「しごと」について理解できましたか？ （○）自分の団の育成会について、現状が認識できましたか？
１１.安全対策と危機管理 （９０分） 川口哲生	1．各隊プログラム活動に対する安全対策について理解する。 2．団運営における危機管理について理解する。	（○）安全教育、安全対策、安全管理とは、それぞれどのようなことか理解できましたか？ （○）各隊の安全教育や安全対策について、団委員会として行うべき「しごと」が理解できましたか？ （○）各隊の安全教育と安全対策以外に、団委員会が行うべき「しごと」が理解できましたか？ （○）事故が起こった時の対応の流れについて理解できましたか？　事故の流れも出来ない → 全員で考えること
１２.団の年間計画 武田誠 （１４０分）	1．団の年間計画が立案できる。	（◎）なぜ団の年間計画が必要なのか理解できましたか？ （◎）なぜ団の中長期計画が必要なのか理解できましたか？ （◎）隊への支援計画を作る体験ができましたか？ （◎）いろいろな調整が必要であることや、いろいろなリソースを活用できることがわかりましたか？
１３.団委員会と団会議の連携 武田誠 （１５０分）	1．団委員会と団会議の関係について理解する。 2．隊の支援計画を策定できる。	（◎）団会議から団委員会への流れを体験して、それぞれの会議の役割や運営の方法が理解できましたか？ （◎）隊活動への組織的、計画的、具体的な支援のしかたが理解できましたか？
１４.スカウト募集 （８０分） 西村伸次	1．スカウト募集活動について理解する。	（◎）なぜ、スカウトを募集しなければならないのかが理解できましたか？ （◎）スカウト募集はだれが行うのか理解できましたか？ （◎）自分の団のスカウト募集について、その実施のポイントが見えてきましたか？
１５.団への支援 （６０分） 高橋	1．都道府県連盟、地区、隣接団との連携について理解する。 2．行政、地域団体、関連諸機関との連携が団委員会の重要な責務であることを理解する。	（◎）隣接団、地区や県連盟とどのように関わっていくべきかが理解できましたか？ （◎）行政、地域団体、関連諸機関との連携は、団にとってどのような意味があるのかが理解できましたか？

※　評価については、セッション中や休憩時間に随時所員が確認したり、「今日の話題」でお尋ねしたりさせていただきますので、ご了承ください。

※　コース終了時にご提出いただく予定です。

充実した3日間、来て良かったです。
ありがとうございました。

第38団

団研京都１１期　グループ（１）　氏名（大森俊一）

セッションの目標・指導上のねらいに基づく、自己評価項目（◎～○～△～×で）

セッション名	目　標	指導上のねらいに基づくチェック項目
1.団委員研修所について （４０分） 高橋	1．団委員研修所の目的と目標について理解する。 2．団委員研修所の運営について理解する。	（◎）これからこの団委員研修所で学んでいく意欲が高まりましたか？（高まっていますか？） （◎）学習の進め方や、生活面での留意点はわかりましたか？
2.スカウト運動の基本原則 （６０分） 武田誠一郎	1．スカウト運動の「定義」「目的」「原理」「方法」について理解する。	（○）スカウト運動の「定義」「目的」「原理」「方法」などが確認できましたか？ ↳3-P2 ↳個人 ↳ちかい （○）スカウトへの訓育・教育について、隊指導者と団指導者のそれぞれの役割が理解できましたか？ 教育・行う・到達制度 （◎）世界スカウト機構（WOSM）と、われわれが行っている活動の関係が理解できましたか？
3．団の組織 （６０分） 高橋	1．団の位置付けと団組織について理解する。 2．団の運営の概要について理解する。 3．団と育成会の関係について理解する。	（◎）団、隊、その他の組織と、それぞれの関係が理解できましたか？ except 育成会 （○）なぜ団という単位で運営されるかが理解できました？ →＝隊 （◎）育成会の役割について理解できましたか？
4.団委員会の組織と機能 西村伸次 （６０分）	1．団委員会の機能と役割について理解する。 2．団委員（長）の役割と任務について知る。	（◎）団委員会がどんな「しごと」をするのか、理解できましたか？ （◎）団委員長、副団委員長、団委員が、それぞれどんな「しごと」をするのか理解できましたか？
5.隊から求められる支援 （９０分） 西村伸次	1．隊指導者の任務の概要について知る。 2．隊活動への財政的支援について理解する。 3．各隊プログラム活動に対する支援について理解する。	（◎）~~隊指導者、特に隊長は、誰からどんな「しごと」を頼まれているのかを理解できましたか？~~ 委嘱が前提 （◎）団は、隊の活動に対して、どんな「しごと」をしなければならないのか理解できましたか？ やっぱりワークショップはGood!!
6.スカウトの進級と団委員会 （６０分） 金子晋也	1．進級に関する団面接について理解する。 2．進級に関する事務手続きについて理解する。 3．スカウトへの記章授与について理解する。 進歩制度	（◎）スカウトの進級に関わって、なぜ団の面接が行われるのか理解できましたか？ （◎）進級と面接の事務手続きについて理解できましたか？ （◎）進級と記章授与に関して、団委員会としてどのような「しごと」があるのか理解できましたか？ Good Demonstration!!
7．団会議 （９０分） 武田誠一郎	1．団会議の機能と役割について理解する。	（◎）団の運営の中で、団会議がどのような位置付けにあるのか、理解できましたか？ （◎）団会議の進め方や内容について理解できましたか？ （◎）各隊の指導者に支援を行う方法が理解できましたか？ 地域社会とのCommin重要
5/4. 8．団委員会の事務と業務 （９０分） 武田誠	1．団会計処理の基本事項を理解する。 2．団の備品、資材管理の基本事項を理解する。 3．入退団管理事務、登録業務の基本事項を理解する。 4．通信連絡事務について理解する。	（○）資金、備品、資材などの管理について、団委員会の「しごと」が理解できましたか？ （○）登録業務の仕組みについて理解できましたか？ （○）幅広い日常業務も団委員会の「しごと」であることが理解できましたか？

団委員研修所　京都第11期　参加事前アンケート

所属県連	地区	団号	役務	氏名
京都	北星	38	団委員	大[illegible]一

団委員研修所京都11期に参加申し込みいただきましてありがとうございます。
この研修でみなさまに高い学習効果をご提供するために以下のアンケートの設問を用意させていただきましたので、ご回答を宜しくお願いします。

1	団に所属する隊数をおしらせください。	BVS隊	CS隊	BS隊	VS隊	RS隊		
		-	1	1	1	1		
2	所属するスカウト数をおしらせください。	BVS隊	CS隊	BS隊	VS隊	RS隊		
		-	7	11	6	16		
3	担当する指導者数をおしらせください。	BVS隊	CS隊	BS隊	VS隊	RS隊	団委員	育成会員
		-	8	7	5	3	20	
4	ちかいの式をおこなっていますか。	BS以上	隊指導者	団委員				
5	団会議を開催していますか？	いる	いない					
		✓						
6	団会議の回数は何回ですか？	毎月	隔月	その他（自由記入）				
		✓						
7	団会議と団委員会を個別におこなっている。	いる	いない					
		✓	✓	過去半年は同時開催だが5月から個別				
8	団委員は何人ですか？	団委員						
		18						
9	団委員の役割分担は出来ていますか？	いる	いない					
		✓						
10	団委員会を開催していますか？	いる	いない					
		✓						
11	団委員会の回数は何回ですか？	毎月	隔月	その他（自由記入）				
		✓						
12	団委員長の任期は決まっていますか？決まっている場合は年数を記入ください。	いる	いない	年				
		✓		2				
13	団委員への委嘱状、任命状を発行していますか。	いる	いない					
		✓						
14	団委員（長）と隊指導者を兼務していますか？兼務の人数をご記入ください。	いる	いない	人				
			✓					
15	育成総会は開催されてますか？	いる	いない					
		✓						
16	育成会役員が選出されていますか？	いる	いない					
		✓						
17	育成会役員会が開催されていますか？	いる	いない					
18	育成会役員会は何回開催されていますか？	毎月	隔月	その他（自由記入）				

所属県連	地区	団号	役務	氏名
京都	北星	38	団委員	大森俊一

		いる	いない
19	団の年間計画書は作成されていますか？	✓	
20	団の会計報告（予実）は作成されていますか？	✓	
21	登録作業をされた経験はありますか？		✓
22	そなえよつねに共済に関する事務をされたことはありますか？		✓
23	団からの「おしらせ」を発信していますか？	✓	
24	団として募集活動を実施していますか？	✓	

・・・・発行されている場合は、持参ください。 Homepage

		ある	ない	団委員	BVS	CS	BS	VS	実修所修了者は下段に記載
25	昨年度、指導者訓練への参加派遣はありましたか？	✓							

		ある	ない
26	安全対策計画書を作成していますか？	✓	
27	隊指導者、インストラクターなどの委嘱状、任命状を発行していますか？	✓	
28	団内面接（進級面接）を実施していますか？	✓	
29	スカウトの進歩記録は団で管理されていますか？	✓	
30	指導者の研修記録は団で管理されていますか？	✓	

アンケートの回答は下記までファックスにて送付ください。

〒601−8047
京都市南区新町通九条下る　京都府民総合交流プラザ3F
日本ボーイスカウト京都連盟
FAX 075−662−8803　TEL 075−662−8801

アンケート回答締め切り日　2015年4月20日（月）必着

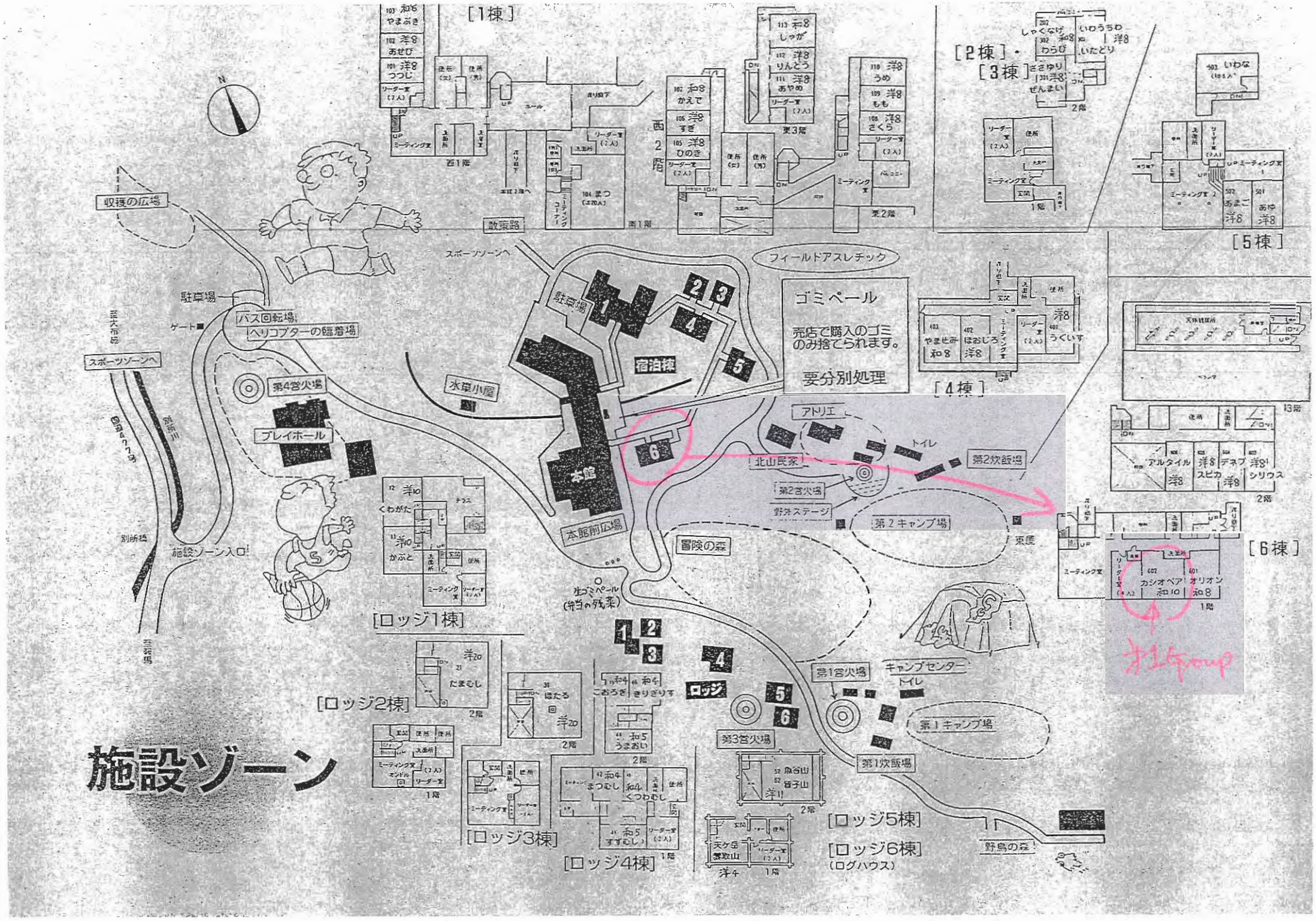
携行品自主点検チェックリスト

団委員研修所京都第１１期

氏　名　大葉[illegible]

No.	品　　名	チェック	No.	品　　名	チェック
1	登録証		17	健康保険証	✓
2	指導者手帳（受付で提出）	✓	18	マイカップ	✓
3	着替え衣類、活動着	✓	19	水筒	
4	着替え下着、靴下	✓	20	筆記具	✓
5	作業着、作業ズボン		21	ノート	✓
6	防寒着	✓	22	日本連盟規程集	✓
7	寝間着	✓	23	団の運営と団委員会	✓
8	雨具	✓	24		
9	長靴（雨靴）	✓	25		
10	懐中電灯（予備電池含む）		26		
11	ハンカチ	✓	27		
12	ちり紙		28		
13	タオル	✓	29		
14	**洗面具・入浴用品**	✓	30		
15	持薬（既往症のある方は必携）		31		
16	救急用品（防虫薬等）		32		

※上記品目以外で持参した携行品は、空欄に追記して確認してください。


施設ゾーン
[1棟]
[2棟]・[3棟]
[4棟]
[5棟]
[6棟]
[ロッジ1棟]
[ロッジ2棟]
[ロッジ3棟]
[ロッジ4棟]
[ロッジ5棟]
[ロッジ6棟]
(ログハウス)
収穫の広場
散策路
スポーツゾーンへ
駐車場
バス回転場
ヘリコプターの臨着場
ゲート
第4営火場
プレイホール
水草小屋
宿泊棟
本館
本館前広場
施設ゾーン入口
フィールドアスレチック
ゴミペール
売店で購入のゴミのみ捨てられます。
要分別処理
アトリエ
トイレ
北山民家
第2炊飯場
第2営火場
野外ステージ
第2キャンプ場
東屋
冒険の森
生ゴミペール
(弁当の残菜)
ロッジ
第1営火場
キャンプセンター
トイレ
第1キャンプ場
第3営火場
第1炊飯場
野鳥の森
アルタイル
デネブ
シリウス
スピカ
カシオペア
オリオン
第1Group

スカウティング　フォア　ボーイズ　１９３２年版

序文

私にも少年の日があった。
少年のころいちばん楽しかったのは、４人の兄弟といっしょに海洋スカウトになって、イングランドの沿岸をあちらこちら旅した時だ。

そのころはまだ海洋スカウトはできていなかったから、私たちは正式の海洋スカウトだったわけではない。
しかし、私たちは自分の帆船を持っていて、四季を通じてどんな天候の時でもその舟で生活もし、航海もし、苦しい時も楽しい時もあったが、おしなべていえばすはらしい愉快な時を過ごした。
そのあと、学生時代の余暇に、ウサギをとって料理したり、鳥を観察したり、獣の足跡をたどったりして、森の中でスカウティングを満喫した。　Wood craft

後に陸軍に入ってからは、インドとアフリカのジャングルで野獣狩りをしたり、カナダで山奥の男たちといっしょに暮らしたりして、限りない楽しさを味わった。
それから、南アフリカの軍隊生活におけるキャンプで、ほんとうのスカウティソグを経験することができた。
さて、このような生活が非常に楽しかったので、私は「本国の少年たちにも、この楽しさを味あわせたらどうだろうか」と考えた。

共に赤い血潮のたぎる少年なら、だれでも冒険と野外生活を熱望していることが私にはわかっていたから、君たちにその方法を教えようと思ってこの本を書いたのだ。　ヒント集
ところが、この本が出版されると、君たちがすぐにこれをとりあげて、今では世界中に何十万どころか、何百万人のボーイスカウトがいるようになった。
ほんとうに辺境で暮らせる人になるのには、いうまでもなくその人たちの使うむずかしい技術や習慣をいくつか覚えなければならない。
この本にはそのやり方の秘けつが書いてあるから、これを研究すれば先生がいなくても自分で覚えることができる。
そして、有能で腕のいいボーイスカウトになる目的は、ただ楽しんだり冒険をしたりするだけではなく、君たちがあこがれている辺境こ住む人、探険家、開拓者と同じように、国のために働き、助けを求める人たちに手助けができるような人になることなのだ。

これこそいちばんりっぱな人たちが進んでやろうとしていることだ。
真のスカウトは、信用できる人として、どんな危険に直面しても自分の義務を果たす人として、ほかの少年や大人から尊敬されるのだ。
君たちが、このようなりっぱなスカウトになるのに必要なことはすべてこの本に書いてある。
だから、さっそくこの本を読んで、覚えたことをみんな実行したまえ。
そして私がスカウトのころに知っていた楽しさのせめて半分でも、君たちに味わってもらいたいというのが私の心からの願いだ。

ベーデンーパウエル・オブ・ギルウエル
世界の総長

AIDS TO SCOUTMASTERSHIP（隊長の手引）　１９４９年発行　P116

How to で先考え方を書いている

要約すれば

スカウテイングの全ての目標は、情熱が熱く燃えさかっているときに、少年たちの性格を捉えて、望ましい形にまとめ上げ、彼らの個性を伸ばすように促すことである。
そうすれば、少年は国にとって善良かつ価値ある市民になるよう自分自身をみがくであろう。
そうすることで、我々は国を心身共に強固なものにすることに関わることができればと望んでい
しかし、国に対する思いを育てることには、常に他の国々に対して偏狭で嫉妬深くなるような危険ある。これを避けない限り、我々が逃れたいと望んでいる害悪をもたらすことになる。

幸いにもスカウト運動においては、世界中のほとんど全ての文明国に兄弟スカウトの組織があり、明確な**世界的友情**の土台を築き上げている。
そして、この潜在的な可能性は協同しているガールガイドという姉妹運動の幅広い発展によってさ強化されている。

全ての国において、スカウト訓練の目的はまったく同じである。
すなわち、他の人たちに**奉仕**するためには役にたつ能力を身につけることである。
そして、こうした共通の目標によって、我々は奉仕を行っている国際的な兄弟仲間として前進し、な活動を行う。
少年に対する我々の訓練において、我々は精神と役に立てる能力の両面で、その少年の国の市民のナショナルチームの有能な選手になるように一人一人を育てるのである。
国の場合も同じ原則で活動しながら、国々のチームの中で、その国が役に立つ働きを助けるために精神と役に立てる能力を育てるようにすべきである。
　ということで、それぞれが自分の持ち場で役割を果たし。「正々堂々と行動する」ならば、世界より大きく繁栄し幸福になり、**人々の間に平和と善意**という長く待ち望まれた状況を最後にもたらすであろう。

平成24年12月9日

団委員長 各位

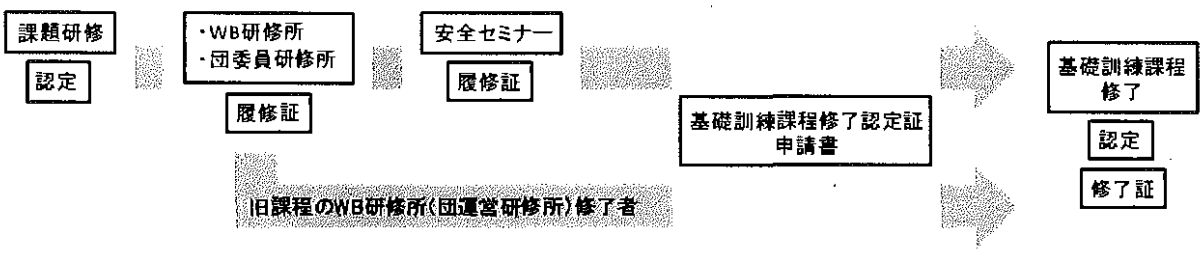
北星地区 地区コミッショナー
河合 敏晃

新訓練体型における基礎訓練課程の修了認定手続きについて

表記の件につきまして、新訓練体系に準じたウッドバッジ研修所・団委員研修所における修了証手続きは下記のような取り扱いとなります。なお、基礎訓練課程修了認定申請書の京都連盟書式は、1月半ばに完成する予定となっております。研修所に参加された方には大変申し訳ありませんが、よろしくお願い申しあげます。

記

(1)新訓練体系における基礎訓練課程の流れ



(2)基礎訓練課程修了認定証申請書について

・当該研修所及び安全セミナーを履修された方は、基礎訓練課程修了認定申請書を団から提出いただくと、日本連盟より修了証が発行されます。

・京都連盟では当該課程の修了証がないと胸章を購入することはできません。

(3)旧訓練体系における移行措置について

・旧訓練体系において、既に WB 研修所(団運営研修所)を修了されている方は、安全セミナーの履修は必要ありません。新訓練体系の研修所を履修したあと、基礎訓練課程修了認定申請書を提出ください。

・新訓練体系で既に他課程の基礎訓練を修了している方は、安全セミナーの履修は必要ありません。当該課程の研修所を履修したあと、基礎訓練課程修了認定申請書を提出ください。

隊指導者・団指導者基礎訓練課程修了認証申請書（例）

日本ボーイスカウト京都連盟
県連盟コミッショナー　山﨑伊佐緒様

2014 年 5 月 19 日

私は所定の訓練を履修しましたので基礎訓練課程の認証を申請いたします。

日本ボーイスカウト 京都 第 38 団

氏名 河合 敏晃

申請課程（該当に◯）	団委員 ・ ビーバー ・ カブ ・ ボーイ ・ ベンチャー		
登録番号	××××−○○○○○○		
ふりがな	かわい としあき	団・隊での役務	BS副長
氏名	河合 敏晃		
提出チェック	☑ 研修所の履修証のコピー（履修済みの場合のみ） ☑ 安全セミナーの履修証のコピー（履修済みの場合のみ）		

研修歴

研修所		WB・団委員研修所 VS 課程 奈良 第 8 期 H25 年 5 月 6 日 履修 ・ 履修予定 ※1
どちらか	安全セミナー ※2	安全セミナー H25 年 6 月 ○○ 日 履修 履修予定 ※1
	研修所（旧体系）※3	WB・団運営研修所 ＿＿＿ 課程 ＿＿＿ 第 ＿＿ 期 ＿＿＿ 年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日 修了

※1 履修又は履修予定のどちらかに◯をつけて下さい。
　履修予定の場合は参加申込書と同時に本申請書を提出して下さい。
※2 初めて基礎訓練課程を修了する場合、研修所の後に安全セミナーを履修する必要があります。
※3 申請課程と異なる課程の旧体系の研修所のみ可。

団委員長の確認	申請内容を確認しました。 氏名 中村 三之助 印

県連盟使用欄

事務局	県コミ（認定）

写し ⇨

地区使用欄

地区事務長	地区コミ

隊指導者・団指導者基礎訓練課程修了認証申請書

日本ボーイスカウト京都連盟
県連盟コミッショナー　山﨑伊佐緒様

＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

私は所定の訓練を履修しましたので基礎訓練課程の認証を申請いたします。

日本ボーイスカウト ＿＿＿＿第＿＿＿団

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申請課程 （該当に◯）	団委員　・　ビーバー　・　カブ　・　ボーイ　・　ベンチャー		
登録番号			
ふりがな 氏名		団・隊での 役務	
提出チェック	□ 研修所の履修証のコピー（履修済みの場合のみ） □ 安全セミナーの履修証のコピー（履修済みの場合のみ）		

研修歴

研修所		WB・団委員研修所 ＿＿＿＿＿課程 ＿＿＿第＿＿期 ＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日　履修 ・ 履修予定　※1
どちらか	安全セミナー ※2	安全セミナー ＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日　履修 ・ 履修予定　※1
	研修所 （旧体系） ※3	WB・団運営研修所 ＿＿＿＿＿課程 ＿＿＿第＿＿期 ＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日　修了

※1　履修又は履修予定のどちらかに◯をつけて下さい。
　　履修予定の場合は参加申込書と同時に本申請書を提出して下さい。
※2　初めて基礎訓練課程を修了する場合、研修所の後に安全セミナーを履修する必要があります。
※3　申請課程と異なる課程の旧体系の研修所のみ可。

団委員長の確認	申請内容を確認しました。 氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

県連盟使用欄

事務局	県コミ（認定）

写し ⇨

地区使用欄

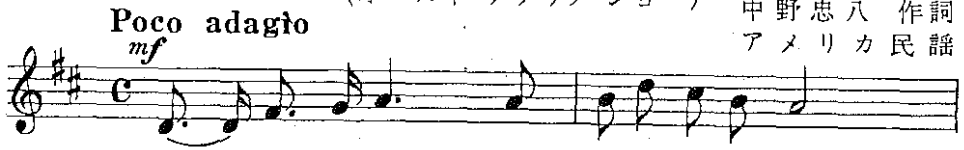
地区事務長	地区コミ

2013/1

2015.11.1　100周年

★ 湖畔の野営
（オールド ブラック ジョー）

中野忠八 作詞
アメリカ民謡



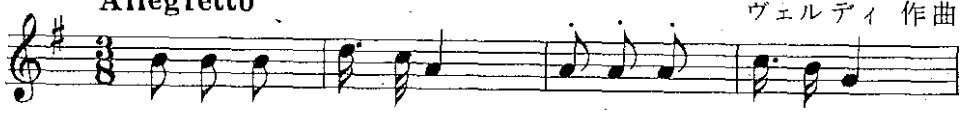
み　ー　ど　り　こ　　き　　ま　つ　の　か　げ

1．みどり濃き松のかげ　けがれなき白き砂
　底も見ゆるや鳩の湖　神の代に似し起きふしを
　　いざや、いざや、いざ試みん　雄松岬の仮の宿
2．雲の峰わきたちて　高さきそうや比良、伊吹
　それより高き意気をもて　まがねのごとき強き身を
　　いざや、いざや、いざ作らなん　火にも水にも耐ゆる身を
3．そよ吹く風による波の　音も静けき星の夜に
　健児のまどい、今果てて　つらねしテントを今日の宿
　　いざや、いざや、いざ眠らなん　錦にまさる草まくら

（註）この歌は大正12～13年（1923～4）頃、まだ、日本に、スカウトソングが、ひとつもなかった頃、また、スカウトキャンプが、まだ一般化しなかった頃、中野先生が雄松岬でスカウト野営を創められた頃の作で、日本スカウトソングの第1号ともいうべきもの、大正14年第1期中央実修所で歌われてから全国に普及した歴史的作品であり、日連発行「健児唱歌」第1集にのせられたものである。鳩の湖（にほのうみ）とは琵琶湖の別名である。

★ さつま汁の歌
（リゴレットより）

ヴェルディ 作曲



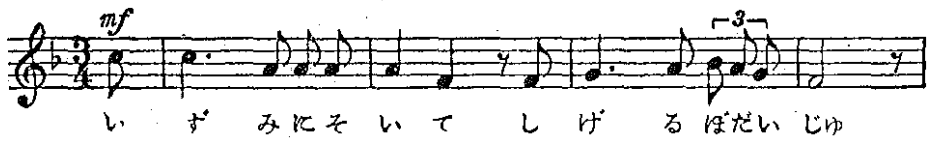
な　べ　の　　な　か　に　　な　に　が　　あ　る　の

指　導　者　　鍋の中に　何があるの？
　隊員合唱　　鍋の中に　いもがあるよ
指　導　者　　いものほかに　何があるの？（以下回答となり、最後に）
　隊員合唱　　いものほかに　ぶたがあるよ
全員合唱　　さつま汁よ　さつま汁よ　さつま汁よ　待って居た

（註）大正15年九州飯田の合同野営で流行した即興的のもので、山口季次郎（現日連先達　当時日連指導主事）の作と伝えられる。この歌のあとに「ちからかブタ公、ブタ公、ブタ公、ちからかブタ公、ブタ公のホイホイ」（朝日は昇るの曲で歌う）というハヤシをつけたものである。

菩提樹

シューベルト 作曲

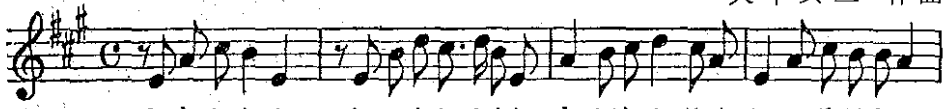


い　ず　み　に　そ　い　て　　し　げ　　る　ぼだい　じゅ

1．泉にそいて　しげる菩提樹　したいゆきては　うまし夢見つ
　幹には彫りぬ　ゆかし言葉　うれし悲しに
　といしその蔭　といしその蔭
2．今日も過りぬ　暗き小夜中　真暗に立ちて　まなことずれば
　枝はそよぎて　語る如し　来よいとし友
　ここに幸あれ　ここに幸あれ
3．おもをかすめて　吹く風寒く　笠は飛べども　捨てていそぎぬ
　はるかさかりて　たたずまえば　なおも聞ゆる
　ここに幸あり　ここに幸あり

椰子の実

島崎藤村 作詞
大中寅二 作曲

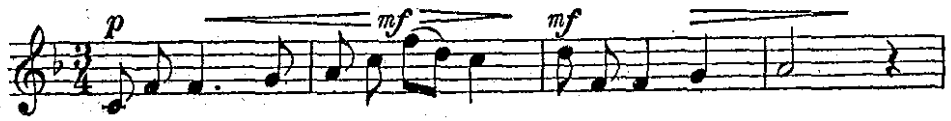


なもしらぬ　とおきしまより　ながれよるやしのみひとつ

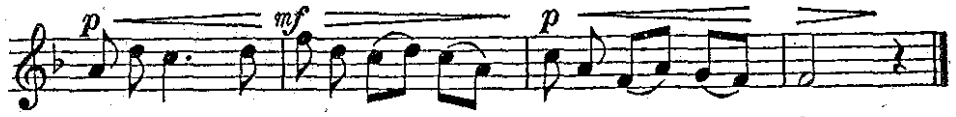
1．名も知らぬ　遠き島より　流れ寄る　椰子の実一つ
　故郷の　岸を離れて　汝はそも　波に幾月
2．旧の木は　生いや茂れる　枝はなを　影をやなせる
　われもまた　渚を枕　孤身の　浮寝の旅ぞ
3．実をとりて　胸にあつれば　新なり　流離のうれい
　海の陽の　沈むを見れば　激り落つ　異郷の涙
　思いやる　八重の潮々　いづれの日にか　国に帰らん

赤とんぼ

三木露風 作詞
山田耕筰 作曲



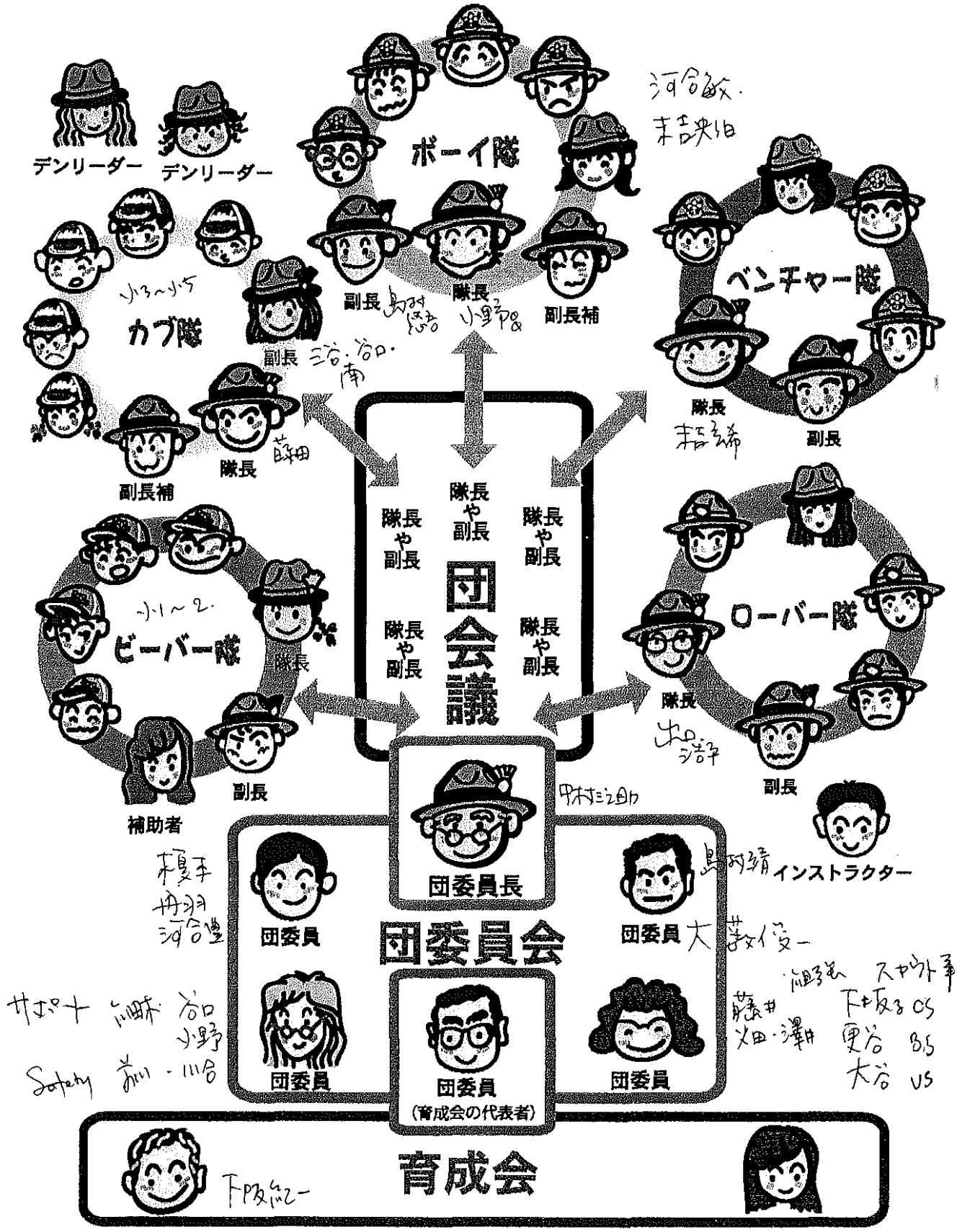
ゆ　う　や　け　こ　や　け　ー　の　　あ　か　と　ん　ぼ



お　わ　れ　て　み　た　の　ー　は　ー　　い　つ　の　ー　ひ　ー　か

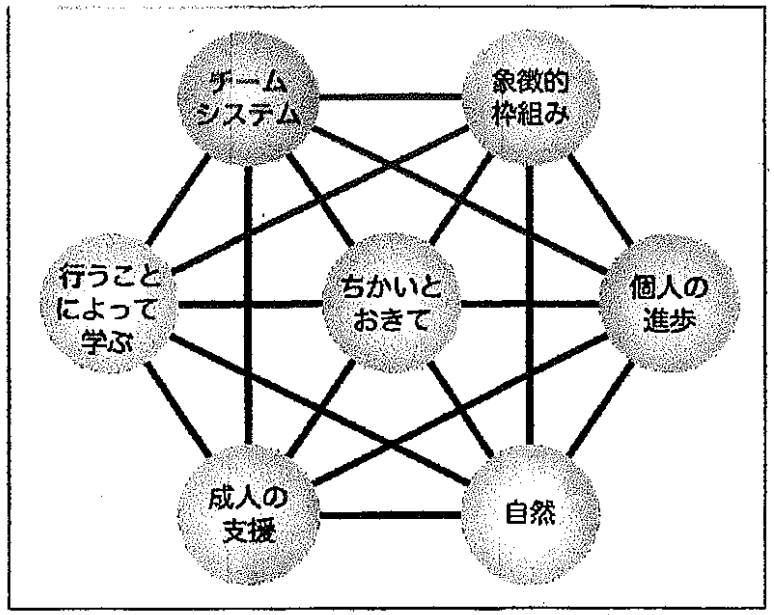
2．山の畑の　桑の実を　小籠につんだは　まぼろしか
3．十五で姐やは　嫁にゆき　お里のたよりも　たえはてた
4．夕やけ小やけの　赤とんぼ　とまっているよ　竿の先

団の組織／スカウト達の身近で支援する成人達



ボーイスカウト研修ノート P13

3. スカウト教育法の要素



◎「ちかい」と「おきて」

強制されるものでない。自分に対し行動を宣する宣言である。

「私の最善を尽くす」

○行うことによって学ぶ

頭は考えるより、行うもの

○チームシステム　小集団一員

社会化の1過程

○個人の進歩

段階的 + 刺激的 + チーム・役に立つ技能・地域社会奉仕

○自然

○成人の支援

隊支援

読図ハイキング実施要項（案）

1. 1週間前に、隊指導者と上級班長とで現地下見に行きます。
2. 風雪、低温、路面凍結が想定されますので、防寒対策とスリップによる転倒防止に十分注意して歩かせます。
3. 危険個所については出発時に注意を喚起します。
4. 歩行は、パトローリング隊形を原則とします。
5. 班長訓練を通じ、記録のとり方、地図とコンパスの使い方、手旗信号、パトローリング等の訓練や指導を行います。

【団委員会への依頼事項】

1. 緊急車両を2台準備し、伴走してください。できれば、ワンボックス型をご用意願います。
   伴走方法は現地にて説明します。
2. 緊急車両には毛布、救急セット、温かい飲み物、バスタオル、カイロ、を準備してください。
3. それぞれのCPでは、スカウトに見つからない位置で待機してください。
   チェックポイント
4. 警察（〇〇市中央警察署）、最寄りの病院（〇〇市立病院）等への通報と連絡をお願いします。
5. チェックポイント（CP）としてお借りする施設・土地の所有者に連絡して許可をもらってください。

集合場所・・・岩城少年自然の家前広場　　・顕在的依頼

CP1・・・・・・旧家「黒澤家」

CP2・・・・・・三角点「55．2m」

CP3・・・・・・岩見ダム管理事務所

CP4・・・・・・天鷺寺（亀田城主菩提寺）

解散場所・・・亀田城跡管理事務所前広場

○ 隊長の狙いの把握

○ 〃 が専念できるための環境づくりとはしすか？

§5 隊支援

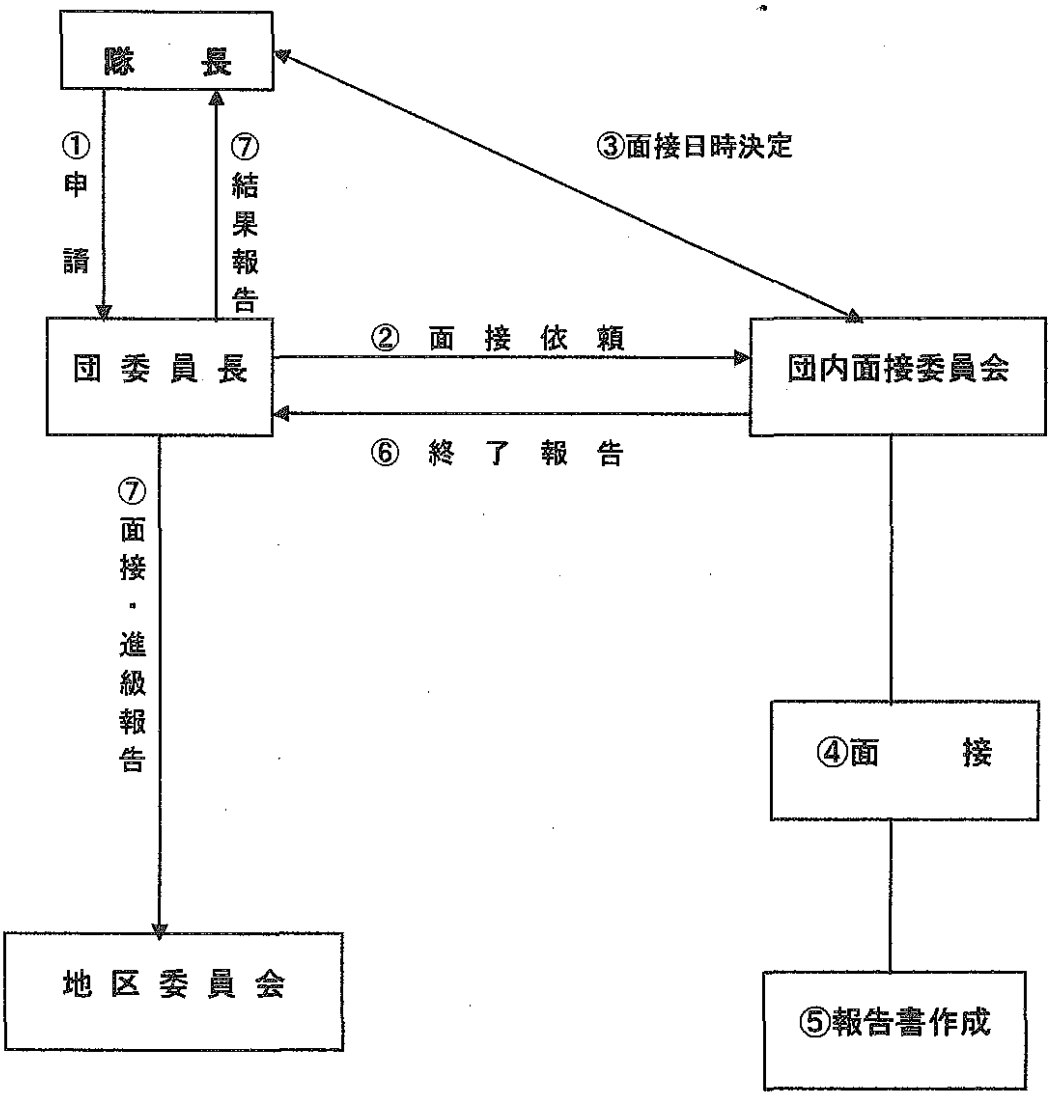
~16:00

項　目	人　的	物　的	金銭的	その他	支　援　の　内　容	担当者
車両						
備品						
CP分対成	4×2人					
警、病院						
CP事前計画						
総予算?						
安全、健康、						
弾注、						
ソング、ゲーム						
記録						

2015.5.3

初級・２級・１級・ベンチャー章面接手順（一例）

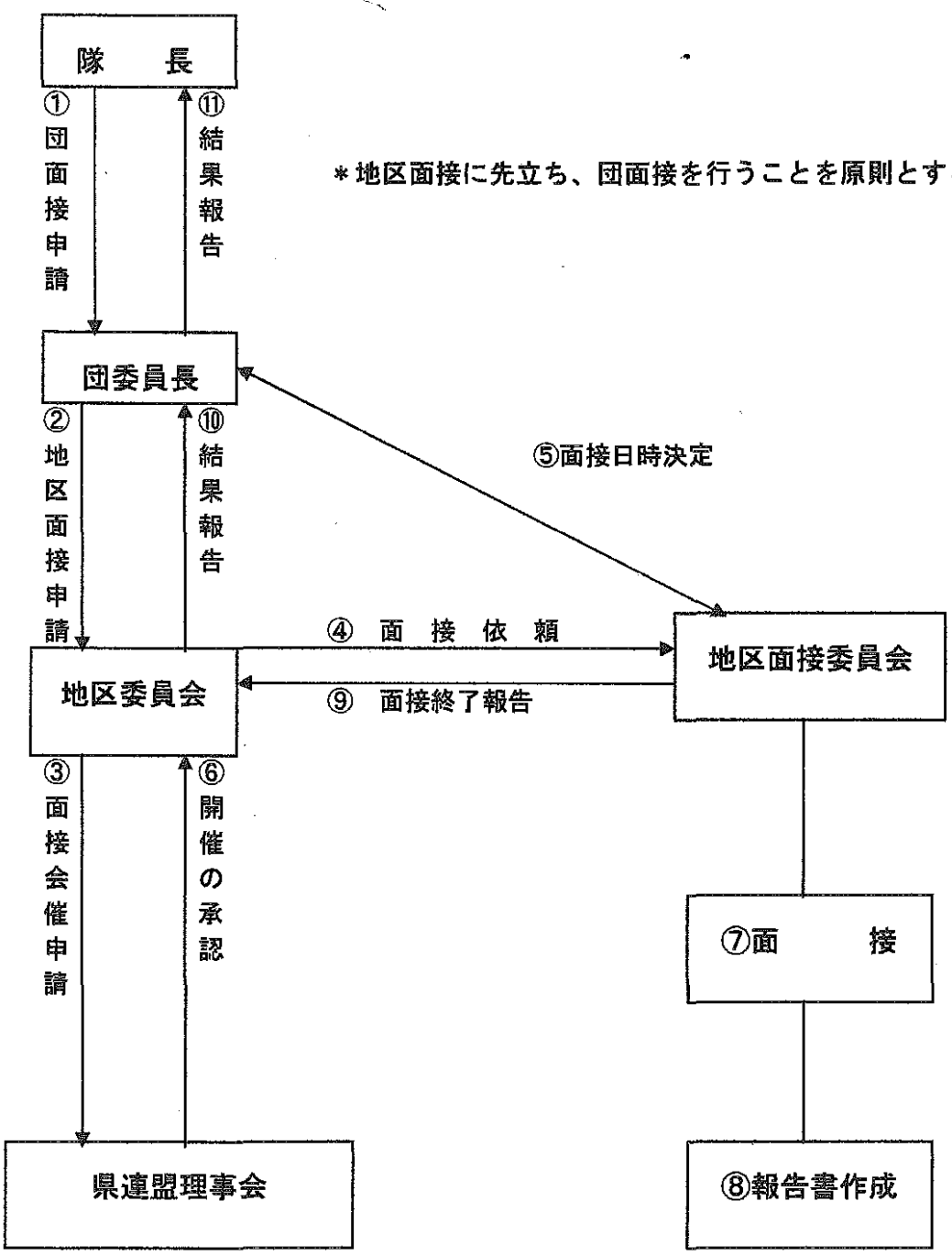
※初級・２級・１級・ベンチャー章の面接の手順を以下に示します。県連盟・地区によっては異なる手順によって実施されていますので、一例としてご理解ください。



（１）　隊長からの申請および面接終了報告には、次頁の様式を使用する。
（２）　面接の手順は図の番号順に行う。
（３）　面接終了後、隊長は団委員長に記章交付の申請する。
（４）　担当団委員は記章授与式までに必要な記章を準備する。
（５）　進級章は各隊での授与式でスカウトに授与する。

菊章面接手順（一例）

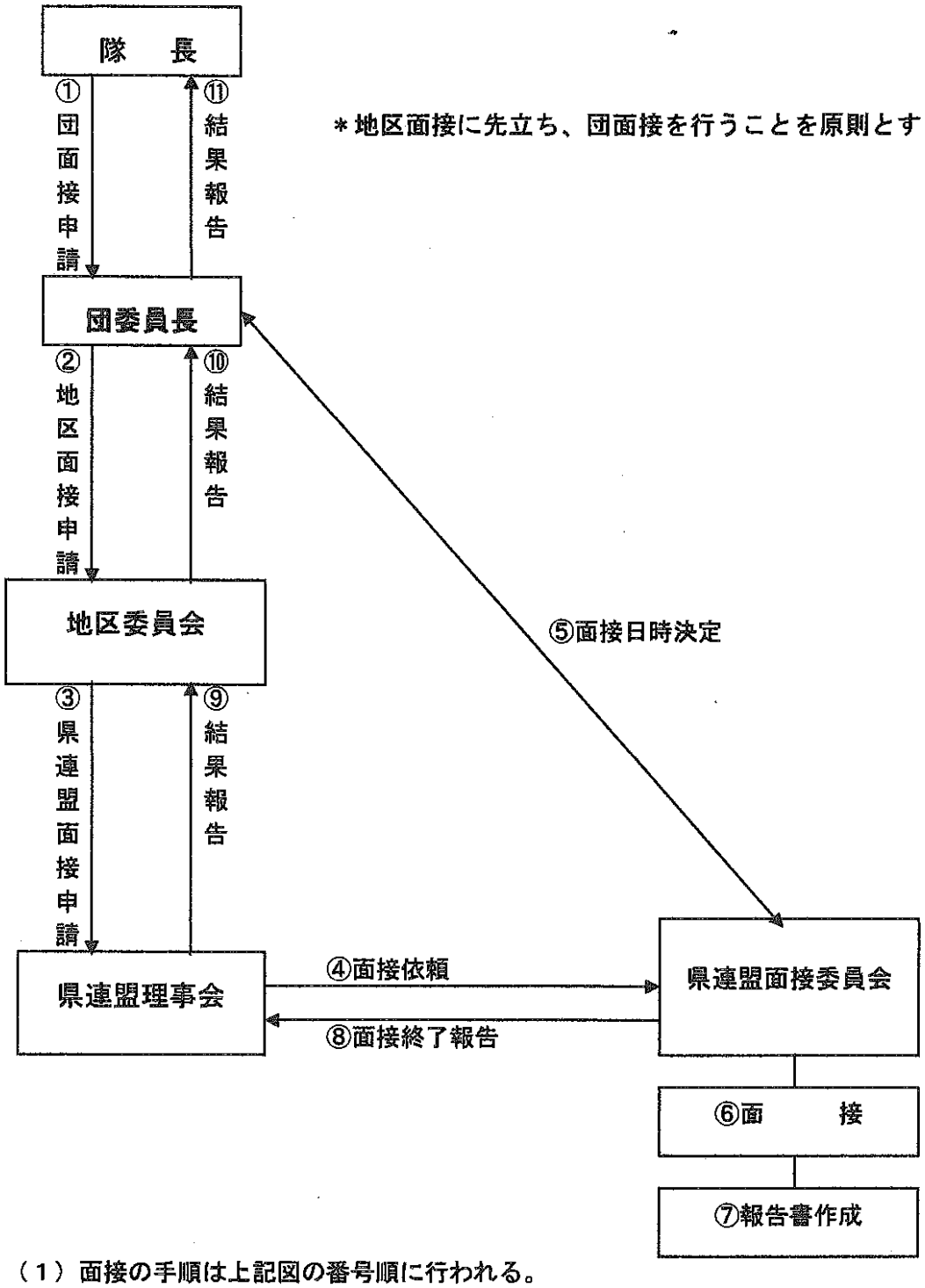
※菊章の面接の手順を以下に示します。県連盟・地区によっては異なる手順によって実施されていますので、一例としてご理解ください。



（1）　面接の手順は図の番号順に行われる。
（2）　面接終了後、団委員長は所属地区を通じ県連盟に記章の交付と進級証の発行を申請する。
（3）　スカウトへの進級記章の授与は、地区の主催する授与式で行うことを原則とする。
（4）　菊スカウト章の授与は県連盟長の名をもって行われる。

富士章面接手順（一例）

※富士章の面接の手順を以下に示します。県連盟・地区によっては異なる手順によって実施されていますので、一例としてご理解ください。



（1）面接の手順は上記図の番号順に行われる。
（2）面接終了後、団委員長は地区・県連盟を通じ日本連盟へ富士章の交付と進級証の発行を申請する。
（3）富士章の授与は、日本連盟理事長の名をもって行われる。
（4）スカウトへの進級記章授与は、県連盟の主催する授与式で行われることを原則とする。

2015.5.3

注）この書式はカブ、初級、２級、１級、ベンチャー章に使用する。

カブ
初級
2級
1級
ベンチャー

スカウト章 進級面接 記章交付 申請書　（例）

平成　年　月　日

団委員長様

ボーイスカウト　第　団　隊

隊長　印

○教育規程7-33による考査の結果、（初級／2級／1級／ベンチャー）スカウトの段階に達したものと認め面接による認証と進級記章交付を申請いたします。
○教育規程 7-41 によりカブスカウト（　　）の記章交付を申請します。

ふりがな 氏名		住所 電話	
学校		年齢	

“やくそく”をした日　年　月　日　場所

“ちかい”をたてた日　年　月　日　場所

進歩記録				上進	
ビーバー入隊		・　・	入隊	BVSからＣＳへ	
CS	りす	・　・	仮入隊	ＣＳからＢＳへ	
	うさぎ	・　・	完修	ＢＳからＶＳへ	
	しか	・　・	完修	移籍	
	くま	・　・	完修	年　月	第　団　隊から
					第　団　隊へ
BS	ボーイスカウト	・　・	仮入隊	年　月	第　団　隊から
	初級	・　・	進級		第　団　隊へ
	2級	・　・	進級	役務歴	
	1級	・　・	進級	役務	期間
	菊	・　・	進級		・　・　～　・　・
VS	ベンチャーバッジ	・　・	入隊		・　・　～　・　・
訓練参加	年月日	訓練の名称			・　・　～　・　・
	・　・				・　・　～　・　・
	・　・				・　・　～　・　・

表彰	年　月　日	事項	年　月　日	事項
	・　・		・　・	

上記スカウトの面接を終了したので報告します。
年　月　日　面接委員会委員長　印

面接委員		

2015.5.3.

団面接の一例

1．開会の辞（司会）
「ただ今より、日本ボーイスカウト○○第○○団ボーイ隊の進級面接会を行います」

2．国旗儀礼
「国旗に正面・礼・直れ」

3．スカウトサイン（司会）
「おきて唱和」（全員で）

（面接を受けるスカウトは一旦退室し、順次個人面接を受ける）

4．スカウトの紹介
（隊長とスカウトが共に並び、隊長より紹介する）
「本日面接を受ける○○君を紹介します
○○君は・・・・・・・であります
○○章の考査課目のすべてを合格しておりますので、○○君の面接をお願いします」

5．面接委員の設問
（1）主として進歩関係・・・・団委員長、他の隊長
（2）主として生活態度・・・・育成会長、団委員、地区役員など
※決して再考査でなく、業績をたたえ、次の進歩への激励であること。

6．認　証　（団委員長または副団委員長が行う）
「以上の面接の結果、○○君は○○級スカウトとして十分な実力があることを認めます　○○君、おめでとう　今後もしっかりがんばって、さらに○○級へ挑戦してください」
（スカウト全員、面接会場へ入る）

7．激励の言葉

8．国旗儀礼
「国旗の正面・礼・直れ」

9．スカウトサイン（司会）
「おきて唱和」（全員で）

10．閉会の辞（司会）
「以上をもちまして、日本ボーイスカウト○○第○○団ボーイ隊の進級面接会を閉会します」

※面接委員回礼（スカウトへの賞賛の言葉を添えて一人ずつ握手）

2015.5.3

進級面接質問の一例

面接の実施、準備に当たっての留意点は数多くありますが、特に次の点に気を付けてください。

＊ 考査を受けた結果を踏まえた面接であることから、再考査とならないようにするとともに、努力を認める質問（確認）を行う。
＊ 和やかな雰囲気を作り、最初の質問は答えやすい内容、順序などの配慮を行う。
＊ 面接を受けるスカウトの個性、特徴について予め隊長より報告を受けておく。

生活面に関する質問（[　　] は質問のねらいを示しています）

1．氏名、団名、隊名、班、役務をたずねる

2．家庭生活の状況をたずねる　[スカウトの家庭内での協力が大切であることを考えさせる]
（1）君の兄弟は何人ですか、何番目ですか
（2）兄弟（姉妹）げんかをしますか。その時お父さんやお母さんは何といいますか
（3）君のお父さん、お母さんの仕事を知っていますか
（4）君の家庭での仕事（分担）は何ですか
（5）お父さんお母さんはスカウト活動についてどう言っていますか
（6）君はスカウト活動のことを家族に話していますか
（7）君の宗教は何ですか

3．学校生活の状況をたずねる　[学校生活をどう過ごしているかを知り激励する]
（1）君の学校、学年を教えて下さい
（2）学校生活は楽しいですか
（3）一番得意な課目は？また嫌いな課目は？その理由は？
（4）クラブ活動は何をしていますか？
（5）クラブ活動が終わって何時頃家に帰りますか
（6）塾に行っていますか
（7）学校の先生は君がスカウトであることを知っていますか
（8）君の友達は君がスカウトであることを知っていますか
中学３年生
（9）どこの高校に進学したいと思っていますか、またその計画は？
高 校 生
（10）高校生活はどんなものですか
（11）将来の人生設計（高校～大学～社会）はどう考えていますか
※「スカウト活動と学校生活との両立ができずにやめていく者が多い中で、君はよく頑張っていますね」・・・・大いに激励してほしい

4．個人生活の状況をたずねる　[スカウト一人一人がどんな個人生活をしているかを知る]
（1）自分の長所・短所と思うものは何ですか
（2）短所と思うことについて、どうしたら良くなるかを考えたことがありますか
（3）君の趣味・特技は何ですか
（4）親しい友達がいますか、どんな友達ですか
※「親しい良い友達を作ることは大切です。これからも良い友情を育ててください」

5．社会生活の状況をたずねる　[地域社会の中でスカウトが生活していることを知らせる]
（1）モットー「日々の善行」とありますが、君はどんなことをしていますか
（2）他の人の善行で感心したことがありますか
（3）学校生活が終わって社会人となったら君は何をしたいですか
（4）そのためにどんな準備をしていますか
（5）ボランティアという言葉を知っていますか、それについてどう思いますか

進級課目に関する質問（[　　] 内は進級のねらいを示しています）

1．初級進級課目に関する質問　[スカウトの仲間として認められる]

（1）カブ隊からボーイスカウト隊に来て楽しいことがありましたか
（2）初級スカウトになるために誰が指導してくれましたか
（3）ちかい、おきてをおぼえましたか
※「これは君が毎日の生活の中で実行していくことですから常に頭に入れておいてください。」
（4）考査でむずかしかった課目は何でしたか
（5）これからボーイ隊でどんな活動をしたいですか
※「初級スカウトとなることは、スカウトの仲間として認められることです。これからは、自分のことが自分でできるよう２級課目に進んで挑戦し、集会やハイキングの中で大いに頑張ってください」

2．２級課目に関する質問　[自分のことが自分でできる]

（1）君はスカウト活動をどう思いますか
（2）今までの活動で楽しかったことは
（3）一番苦しかったことは
（4）進級課目の中で「ちかい」と「おきて」の実行に努力するとありますが、君がどのように努力しているかを教えて下さい
（5）２級の技能の中でむずかしかったのは何ですか、また、どのように勉強しましたか
（6）２級の考査課目の中にハイキング技能がありますがどうでしたか
（7）キャンプは好きですか
（8）これから１級スカウトへの挑戦となりますが、君はどんな計画をもっていますか
※「２級スカウトは、自分のことが自分でできることです。今度は自分のことができると同時に他の人も助けることが必要です。それと同時に、キャンプのルールも守る人にならなければいけません。大いに頑張って１級スカウトに早くなれるよう努力してください」

3．１級進級課目に関する質問　[自分のことが自分でできると同時に他の人を助ける]

（1）君は今までスカウト活動を続けて来たわけですが、君にとってスカウト活動はどんなものを与えてくれましたか（ここで、ボーイスカウトの目的を再認識させる）
（2）考査課目に、毎日の生活の中で「ちかい」と「おきて」を実行して努力するとありますが、君はどのように実行努力してきましたか
（3）１級の考査課目の中にキャンピング技能がありますがどうでしたか
（4）今後、どのような選択課目に挑戦したいですか
（5）カブ隊のデンコーチをしたと思いますが、感想はどうでしたか
（6）君は、班長（次長）ですね。班集会や隊集会などで班の仲間達はどうですか。困ることはありませんか
（7）スカウト活動のプログラムの中で、もっともっとしたいことは何ですか
（8）今までのスカウト活動の中で、楽しかったこと、苦しかったこと、悲しかったことなどがあったと思いますが、話してみて下さい
（9）これからのスカウト活動の計画を教えて下さい
※「これからは菊スカウトに挑戦することになりますが、菊スカウトになるにはボーイスカウトの目的にあるように、自発活動でスカウト精神、健康、技能、責任を体得し、人間性を養わなくてはなりません。ボーイスカウトの総仕上げとも言うべき菊スカウトになるようぜひ頑張ってください」

4．ベンチャー進級課目に関する質問　[ベンチャースカウトの仲間として認められる]

（1）君はベンチャーバッジの時に今の高校に入るために努力をしましたか、結果はどうでしたか
（2）ボーイスカウト運動の創始者ベーデンーパウエルはどんな人ですか
（3）ちかい・おきての実践について、どのように努力していますか。そして心がまえを述べて下さい
（4）日常生活の中で、健康と安全にどう心がけていますか
（5）ベンチャー章取得のためのソロキャンプはどうでしたか
（6）ベンチャースカウトとして、君はどんなことをしてみたいですか。今後の計画を教えて下さい。
※「高校生となって、これからベンチャースカウトとして活動することになりますが、一段と進歩に心がけて下さい。富士スカウトになることがベンチャースカウトして、一人前になることですから、技能章の挑戦計画をはっきりと定め、ぜひ富士スカウトとなってほしいと思います。頑張ってください。

2015.5.3

金子平也

考査面接一覧

	考査・認定	面　接	記章の授与
ﾋﾞｰﾊﾞｰ・ﾋﾞｯｸﾞﾋﾞｰﾊﾞｰ	団委員会の責任において	団　内	団
うさぎ・しか・くま	団委員会の責任において	団　内	団
初級・２級・１級	団委員会の責任において	団　内	団
菊スカウト章	隊長の責任において	県連盟進歩担当委員会の責任において	連　盟　長 授与式(地区,県連盟)
ベンチャー章	団委員会の責任において	団　内	団
隼スカウト章	隊長の責任において	県連盟進歩担当委員会の責任において	連　盟　長 授与式(地区,県連盟)
富士スカウト章	隊長の責任において	県連盟進歩担当委員会の責任において	日本連盟理事長 授与式(地区,県連盟)
小　枝　章	団委員会の責任において	団　内	団
チャレンジ章	団委員会の責任において	団　内	団
ターゲッドバッジ・マスターバッジ	団委員会の責任において	団　内	団
技　能　章	考査員 / 隊長の責任において	団　内	団
プロジェクトバッジ	隊長の責任において	団　内	団

考査・認定は隊長

認証

2015.5.3 §6

No.1

見本

1級スカウト面接申請書

申請出ると1日も早く面接するぞ!

平成27年4月15 日

日本ボーイスカウト　京都連盟

洛北　地区　花背　第　1　団　　ボーイ隊長　吉久　太郎　吉久 印

下記のスカウトは、隊長の責任において、1級スカウト章課目の考査を修了し、1級スカウトの段階に達したものと認め、面接による認証を申請します。

フリガナ	タケダ　イチロウ	年　齢	平成13年　8　月　17　日生　(満　13　歳)
氏　名	武田　一郎	登録番号	2610001234
所　属	(　洛北　地区)　花背　第 1 団　ボーイスカウト隊　カモシカ　班(役務)　班長		
住　所	〒 601-1105　京都市左京区花背別所町 399	TEL：　075 － 746 － 0717	
ちかいをたてた日：　平成 24　年　9 月15　日　　場所：花背山の家			

1．進歩の記録・活動参加記録

BVS	入　隊	H20年9 月15　日	BS(隊・班)参加状況	キャンプ参加	18 泊
			隊活動参加：____日/____日 参加率 80%	隊ハイキング参加	2 回
C S	入　隊	H21年9 月15　日	班活動参加：____日/____日 参加率 90%	班ハイキング参加	3 回
	うさぎ	H22年 7月 7日 完 修	奉仕	行事名	年 月 日～ 年 月 日
	しか	H23年 5月25日 完 修			年 月 日～ 年 月 日
	くま	H24年 6月 9日 完 修			年 月 日～ 年 月 日
	上進章	H24年 7月22日 完 修			年 月 日～ 年 月 日
B S	入　隊	H24年 9月15日			年 月 日～ 年 月 日
	初　級	H25年 1月 9日進　級	大会・訓練参加	名称	年 月 日～ 年 月 日
	2　級	H25年10月10日進　級		第16回日本ジャンボリー	H25年7月31日～H25年8月8日
	1　級	年　月　日進　級			年 月 日～ 年 月 日
宗教章：		章　年　月　日授与			年 月 日～ 年 月 日
役務歴 CS	次　長	H23年9月15日～H24年3月19日	海外派遣	派遣名	年 月 日～ 年 月 日
	組　長	H24年3月20日～H24年9月14日			年 月 日～ 年 月 日
役務歴 BS	デンコーチ	H25年7月10日～H26年9月14日	表彰	事 項	年 月 日
	次　長	H26年7月22日～H27年3月19日			年 月 日
	班　長	H27年3月20日～　年 月 日	その他		
	上級班長	年 月 日～　年 月 日			
	隊　付	年 月 日～　年 月 日	移籍：	第　団 →	第　団　年 月 日

2．学校

学校	京都市立　花背 中学　第2　学年	趣味：特技
	生徒会・学級活動　体育委員	趣味：サッカー、自転車、釣り、食べること
	所属クラブ・部活動 サッカー部	特技：サッカー、そろばん、書道2段

本人に対する保護者のコメント

3年生がいないため、この春から班長となり隊長をはじめ周りからの期待に応えようと努力していると思います。

1級スカウトに進級すれば、本人の自信にもなり、それに見合った言動が取れるように成長してくれることを期待しています。

保護者 氏　名　武田　ふみ

見本　京都　第 1 団　氏 名　武田　一郎

3．1級進級課目の修得

項　目	課　目		認証年月日
1.スカウト精神	「ちかい」と「おきて」の実践に努力していることを日常生活で示す。		H27・2・1
	野外における国旗掲揚法を知り、キャンプにおいて国旗を掲揚する準備をし掲揚する。		H24・11・1
	「スカウト精神」の活動からターゲットバッジを１つ修得する。	バッジ名 メンバーシップ	H25・5・25
2.健康と発達	「健康と発達」の活動からターゲットバッジを１つ修得する。	バッジ名 安全	H25・8・8
3.スカウト技能	「スカウト技能・ハイキング」の活動からターゲットバッジを１つ修得する。	バッジ名 ハイキング企画	H26・9・20
	「スカウト技能・追跡」の活動からターゲットバッジを１つ修得する。	バッジ名 計測	H27・2・1
	「スカウト技能・冒険」の活動からターゲットバッジを１つ修得する。	バッジ名 食糧	H25・2・5
4.社 会 生 活	「社会生活」の活動からターゲットバッジを１つ修得する。	バッジ名 自然愛護	H27・2・1
5.キャンピング	キャンプで気をつけなければならないことを説明する。		H26・10・10
	キャンプの際に班サイトに適した場所を選び設計しテントを張る。		H24・11・10
	キャンプの献立を作成し、食材の準備と保管で気をつけることを説明する。		H25・8・8
	隊長および保護者の同意のもとにキャンプを計画し実際に行う	1級キャンプ	H27・3・20
	「スカウト技能・キャンピング」の活動からターゲットバッジを２つ修得する。	バッジ名 キャンプクラフト　バッジ名 野外料理	H27・1・15
5.マスターバッジ	マスターバッジを２つ修得する。	バッジ名 救護	H27・2・1
		バッジ名 キャンプクラフト	H27・2・1
6.班 長 会 議	２級スカウトとして、最低３か月、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。		H27・3・1

技　能　章	珠算　章	章	章	章	章
	H26・11・3	・　・	・　・	・　・	・　・

班長会議のコメント
とても頑張り屋さんで、班員の面倒見も良い

記入者氏名　ﾔﾏﾊﾞﾄ班　山田　太郎

隊長の評価
明るく活発で面倒見が良く、班員からの信頼も厚い班長です。また、クラブ活動との両立にも努めており努力家で活動意欲も高く、スカウトとしてのスキルも十分身に付けてきています。

氏　名　　吉久　太郎

4．面　　接

日　時	H27 年 5 月 3 日　午前・(午後)　5 時 30 分 ～ 午前・(午後)　6 時 00 分			
場　所	花背山の家　セミナールーム			
面接委員	氏　名	役　務	氏　名	役　務
	高橋　太郎	団委員長		
	大里　花子	進歩担当団委員		
	川口　三郎	育成会長		
	西村　五郎	VS 隊長		

表記のスカウトを面接し、進級課目達成を認証しましたので報告します。
年　　月　　日　　面接認証者＿＿＿＿＿＿＿＿印
（役務）

5．1級章進歩証の交付と記章の授与

申請書受付・提出			申請書受付			認証番号	進歩証・記章	
受付日	団進歩委員	団提出日	事務局	団委員長	育成会長	—	進歩証交付日	記章授与日
・　・		・　・					・　・	・　・

京都　第 1 団　氏名　武田　一郎

進歩状況一覧表

見本

※ 各欄に、認証の日付を記入してください。

	No.	項　目	ターゲットバッジ	マスターバッジ
A群 スカウト精神	A 1	メンバーシップ	24・10・11	・・
	A 2	家庭	25・10・7	・・
	A 3	地域社会	・・	・・
	A 4	公民	・・	・・
	A 5	郷土文化	・・	・・
	A 6	世界友情	・・	・・
	A 7	地球市民	・・	・・
	A 8	B－P	26・1・15	・・
	A 9	リーダーシップ	・・	・・

	No.	項　目	ターゲットバッジ	マスターバッジ
B群 健康と発達	B 1	健康	・・	・・
	B 2	安全	25・4・1	・・
	B 3	水泳	・・	・・
	B 4	運動能力	・・	・・
	B 5	救護	25・4・26	25・9・15
	B 6	クラブ活動	26・12・15	・・
	B 7	外国語	・・	・・
	B 8	情報処理	・・	・・
	B 9	マネジメント	・・	・・

		No.	項　目	ターゲットバッジ	マスターバッジ
スカウト技能	C群 ハイキング	C 1	ハイキング企画	25・4・12	26・9・27
		C 2	読図	25・4・15	・・
		C 3	記録	27・1・18	・・
		C 4	写真	・・	・・
		C 5	自転車	24・12・15	・・
		C 6	オリエンテーリング	・・	・・

		No.	項　目	ターゲットバッジ	マスターバッジ
スカウト技能	D群 追跡	D 1	観察	25・3・3	・・
		D 2	計測	26・9・18	・・
		D 3	通信	26・12・12	・・
		D 4	森林	・・	・・
		D 5	野生生物	・・	・・
		D 6	気象観測	26・12・15	・・
		D 7	天体宇宙	・・	・・

		No.	項　目	ターゲットバッジ	マスターバッジ
スカウト技能	E群 キャンピング	E 1	キャンプ企画	25・4・15	26・11・3
		E 2	野外料理	26・9・27	・・
		E 3	キャンプクラフト	25・3・15	26・9・15
		E 4	燃料	・・	・・
		E 5	ロープ結び	25・10・15	・・
		E 6	たき火	25・1・15	25・11・15
		E 7	キャンプマネジメント	・・	・・

		No.	項　目	ターゲットバッジ	マスターバッジ
スカウト技能	F群 冒険	F 1	食料	25・8・15	・・
		F 2	キャンプファイア	25・8・15	・・
		F 3	サバイバル	・・	・・
		F 4	フィッシング	25・10・20	・・
		F 5	パイオニアリング	・・	・・
		F 6	ウォーターアドベンチャー	・・	・・
		F 7	スカウトソング	・・	・・

	No.	項　目	ターゲットバッジ	マスターバッジ
G群 社会生活	G 1	自然愛護	25・6・15	・・
	G 2	デンコーチ	25・8・25	・・
	G 3	近隣奉仕	25・10・15	・・
	G 4	環境保護	25・6・15	26・11・3
	G 5	伝統工芸	26・1・15	・・
	G 6	防災	・・	・・
	G 7	リサイクル	・・	・・
	G 8	ガイド	・・	・・

2015.5.3

団委員研修所　§７　団会議演示　団会議レジュメ(例)

平成○○年度　第３回　団会議

1. 日　時　　平成○○年　　5月　11日(金)
2. 場　所　　△△公民館
3. 出席者　　団委員長、BVS隊長、CS隊長、BS隊長、VS隊長、RS隊長
4. 内容　　高橋

(1)県連、地区情報(団委員長から報告と相談)

(2)ラウンドテーブル出席報告（各隊長から）

(3)各隊活動の実施報告ならびに実施計画

①前月の活動とスカウトの状況等について報告

②次月活動計画の変更点などの調整

③再来月の活動計画案の発表と調整

ｉ）活動日時、場所の調整

ii）使用する団備品の調整

iii）その他

(4)団委員会への支援依頼および調整

(5)その他の事務連絡等

Group 1

団委員研修所　§7　団会議　ワークシート

①団会議で協議すべきもの（したもの）	②団委員会に報告するもの	③団委員会で協議すべきもの
▷ 各隊活動予定 b - ビーバ - RS隊 が同じ日 近場	▷ BS隊 A君 c 2級進級	▷ BS隊 Aくん c 2級面接まなどり、出席者
▷ 隊集会の計画書提出 ? 安全に関する事	▷ ビーバ隊集会に b RS隊が参加 支援可能	▷ 再来月ビーバ g ヒミツ 基地 安全に2人の 団委員支援
▷ 備品の使いまわし、 d	▷ RS隊 B くん f BS講習会出席 10/8〜	▷ 大なべ購入予算 d,e 1万円
▷ 共通備品の調整 d	▷ RS隊CBくん e 講習会 全額補助、 参加費 → 会計	▷ なた 2つ 4000円 d,e BS隊
▷ 備品の要請 d		

2015.5.2　ゆう

第一班　注《 》は第2班の内容

	項目	人的	物的	金銭的	その他	支援の内容	期日	担当者
1.	車両2台	✓	✓	✓		○西田×1台供出、もう1台は保護者に依頼 ○保険確保　○添乗員2名の確保　《レンタカーこがbetter》	−1ヶ月	西田
2	備品の確保		✓	✓		○毛布（団備品より） ○救急セット（団備品＋1セット購入） ○カイロ、温かい飲物（購入） ○バスタオル（亀岡が確保） ○購入品の費用（5000円） ○当日の運搬	−2week	亀岡
3	CP待機	✓				○下見結果で4人必要か2人が持ちまわるか決定 ○チェックすべき内容の理解と共有 ○保護者への呼びかけ、又はインストラクター	−1ヶ月	池中
4	事前通報連絡	✓			公共施設	○警察・病院　2week前　○岩本団委員長が、副団委員長に依頼（出来ないところを） ○黒澤家　○天鷺寺 ○岩見ダム管理事務所	−2week −1ヶ月	岩本団委長
5	下見同行安全確認	✓			✓	○下見に同行し、危険箇所：全般チェック《通信状況の確認》 ○チェックポイント箇所の役割箇所、持ちまわりできるか確認 同行者：西田（車）・池中（CP）		岩本
	そなえよつねに共済保険			✓	✓	○当日プログラム参加者で保護者など未加入者は追加で保険加入	−2week	大藪
	ハイキング予算確保			✓		○隊長の計画書・予算の確認　○下見や当支援計画で新たに発見された追加費用を加え、年予算がオーバする場合は団委員会で承認		隊長

2015.5.4

○○年度団会計収支決算書(例)

平成○○年9月1日～平成○○年8月31日

収入の部　　単位　円

項目		決算額	備考
前年度繰越金		115,643	
隊活動費	BVS隊	216,000	12人×18000
	CS隊	324,000	18人×18000
	BS隊	432,000	24人×18000
	VS隊	216,000	12人×18000
	RS隊	90,000	5人×18000
登録費・保険料収入		297,500	85人×3500
育成会助成金		744,000	62人×12000
入団金収入		48,000	6人×8000
市町村補助金		97,000	
雑収入		3,504	利息等
合計		2,583,647	

支出の部　　単位　円

項目		決算額	備考
隊活動費	BVS隊	216,000	
	CS隊	324,000	
	BS隊	432,000	
	VS隊	216,000	
	RS隊	90,000	
備品費		80,000	ドームテント購入
指導者養成費		35,400	WB研修所補助
組織拡張費		50,000	募集チラシ他
慶弔費		20,000	入院見舞い、香典
標章費		5,672	記章類
通信運搬費		45,600	郵送料
日連・県連・地区登録費		423,000	
保険加入費		78,200	日連共済、イベント
団事業費		131,978	隊活動支援他
隊助成費		216,500	隊キャンプ他補助
雑費		15,600	
次年度繰越金		203,697	
合計		2,583,647	

団　会　計　貸　借　対　照　表　（例）

平成〇〇年8月31日

（単位　円）

資産			負債		
科目		金額	科目		金額
流動資産	現金	0	流動負債	預り金	0
	普通預金	203,697		未払金	0
引当資産	記念事業引当預金	250,000	引当金	記念事業引当金	250,000
	チーフ製作引当預金	60,000		チーフ製作引当金	60,000
	備品購入引当預金	300,000		備品購入引当金	300,000
	運営資金引当預金	200,000		運営資金引当金	200,000
	緊急対策引当預金	400,000		緊急対策引当金	400,000
固定資産	器具備品	1,543,800	残高勘定	器具備品残高	1,543,800
				当期剰余金	203,697
合計		2,957,497	合計		2,957,497

○○年度団会計収支予算書（例）

平成○○年9月1日～平成○○年8月31日

収入の部　　単位　円

項目		予算額	備考
前年度繰越金		203,697	
隊活動費	BVS隊	180,000	10人×18000
	CS隊	306,000	17人×18000
	BS隊	396,000	22人×18000
	VS隊	198,000	11人×18000
	RS隊	90,000	5人×18000
登録料・保険料収入		290,500	83人×3500
育成会助成金収入		708,000	59人×12000
入団金収入		40,000	5人×8000
市町村補助金		97,000	
雑収入		10,000	利息等
合計		2,519,197	

支出の部　　単位　円

項目		予算額	備考
隊活動費	BVS隊	180,000	
	CS隊	306,000	
	BS隊	396,000	
	VS隊	198,000	
	RS隊	90,000	
備品費		100,000	
指導者養成費		50,000	
組織拡張費		100,000	
慶弔費		30,000	
標章費		20,000	
通信運搬費		50,000	
日連・県連・地区登録費		420,000	
保険加入費		80,000	
団事業費		150,000	
隊助成費		250,000	
雑費		10,000	
予備費		89,197	
合計		2,519,197	

団財産目録(例)

平成○○年8月31日現在

科目			摘要	金額
資産	流動資産	現金		0
		預金		203,697
	固定資産	器具備品	A型テント　6人用　6点	360,000
			ドームテント　GV404　6点	480,000
			食堂用フライ　4点	280,000
			キャンプテーブル　4点	40,000
			パイプテント　3K×2K　1点	110,000
			ガスランタン　12点	60,000
			ガスコンロ　8点	48,000
			大なべ　2点	10,000
			ガス炊飯器　4升炊　1点	40,000
			斧　4点	28,800
			会議用テーブル　4点	44,000
			会議用椅子　12点	43,000
	繰入引当資産	記念事業引当預金	○○銀行△△支店　定期預金	250,000
		チーフ製作引当預金	○○銀行△△支店　普通預金	60,000
		備品購入引当預金	○○銀行△△支店　普通預金	300,000
		運営資金引当預金	○○銀行△△支店　普通預金	200,000
		緊急対策引当預金	○○銀行△△支店　定期預金	400,000
資産合計				2,957,497

科目			摘要	金額
負債	流動負債	預り金		0
		未払金		0
	引当勘定	記念事業引当金	記念事業引当金残高	250,000
		チーフ製作引当金	チーフ製作引当金残高	60,000
		備品購入引当金	備品購入引当金残高	300,000
		運営資金引当金	運営資金引当金残高	200,000
		緊急対策引当金	緊急対策引当金残高	400,000
	残高勘定	器具備品	器具備品残高	1,543,800
資産負債差額				203,697
負債合計				2,957,497

2015.5.4
10:30

§9

新指導者養成訓練体系（団委員・コミッショナー）

成人指導者訓練 団委員訓練課程

上級訓練修了記章の着用可

上級訓練課程修了　認証者：日本連盟コミッショナー

県連盟コミッショナーの認定後、県連盟事務局より日本連盟へ実務訓練報告書の表紙コピーを提出。

開設担当

団委員実修所

上級訓練課程

第三教程

実務訓練
内容：・自団の改善計画の実施と評価　・自己研修計画の実施と評価
履修認定者：県連盟コミッショナー

県連盟

第二教程

マネジメントトレーニング（団委員研修所履修後１年以上）
日程と形式：２泊３日（舎営）
参加対象者：基礎研修課程（旧団運営研修所含む）を修了し、課題研究を履修した者。
履修認定者：所長（※MT所長養成コースを修了したリーダートレーナー）
内容：団および都道府県連盟（地区含む）の組織と機能、コミッショナーとの連携、問題解決に向けた課題の設定および解決手法の検討等

日本連盟・県連盟またはブロック

第一教程

課題研究
履修認定者：トレーナー
内容：・自団の状況が把握できる資料の入手　・課題図書の精読　等

研修所履修後、１年以上を経過した後にマネジメントトレーニングを履修することがのぞましい。

基礎訓練修了記章の着用可

基礎訓練課程修了　認証者：日本連盟コミッショナー

基礎訓練課程

安全セミナー（隊指導者と共通）（なるべく早い時期に参加する）
履修認定者：セミナーディレクター（トレーナー）

団委員研修所
1．日程と形式：２泊３日（舎営）
2．履修認定者：所長（トレーナー）
3．参加対象者：導入訓練を修了し、かつ課題研修を履修した団委員、その候補者または特に参加を希望するもの
4．内容：団の組織、団委員の任務、隊指導者との連携、団会議と団委員会、業務と管理事務、年間計画策定
5．課題研修：
（１）内容：「団の運営と団委員会」の熟読、教育規程関係規程の熟読、「ボーイスカウト隊リーダーハンドブック」関係内容の熟読等
（２）履修認定者：トレーナー

県連盟

導入訓練（隊指導者と共通）

県連盟

・8-1 (p88)～8-11 (p89)　日本連盟 HomePage → download page
・P20

2015.5.4
10:30

89

資料：7

指導者訓練体系（隊指導者）

平成２６年３月

ウッドバッジ２ビーズ・ギルウェルスカーフの授与
上級訓練修了記章の着用可
上級訓練課程修了　認証者：日本連盟コミッショナー

金のRope

開設担当

ウッドバッジ実修所

県連盟コミッショナーの認定後、県連盟よりレポートと修了申請書を日本連盟へ提出。

上級訓練課程（部門別）

第三教程

実務訓練（プログラムトレーニング履修後１年以内）（部門別）

1．形式：実務訓練
2．履修認定者：県連盟コミッショナー
3．内容：プログラムトレーニングで策定した隊集会プログラム（プロセス含む）を実施し、その状況の報告と評価および今後の改善点について報告。

県連盟

第二教程

プログラムトレーニング（ＰＴ）（ウッドバッジ研修所履修後１年以上）（部門別）　集合訓練.

1．日程と形式：３泊４日（野営）
2．履修認定者：所長　※前年度に開催されるＰＴ所長養成コースを修了したＬＴ（日本のレベルを上げるため）
3．内容：①効果的な年間活動計画の策定手法、②隊集会プログラム（プロジェクト企画）の策定とプログラムプロセスの効果的な活用、③プログラム評価（スカウト教育法、スカウトや保護者の満足度、社会のニーズ）、④活用できるプログラム題材（野外活動技能、社会生活、国際友愛、文化財、環境、その他）、その他
4．参加対象者：基礎訓練課程とスキルトレーニングを修了し、課題研究を履修した者

※ ＰＴ所長養成コースは２年に１回開催し、所長の任期は４年とする。

日本連盟・県連盟または県連盟の合同

第一教程

課題研究（部門別）

1．内容
(1)　課題で示されたスカウトのニーズをもとに、隊集会（ＶＳはプロジェクト）、班集会、班長訓練の各計画書を作成する。
(2)　(1) で計画した隊集会を行うためのプログラムプロセスを図示し、留意点を記述する。
(3)　自隊の年間プログラムを内容、進歩課程等の観点から評価し、問題があれば改善案とその理由を示す。
(4)　団会議、団委員会の機能と役割を記述する。さらに (1) の隊集会を実施するために①団委員会から、②コミッショナーからどのような支援が必要か、どのように協働するか等についても記述する。
(5)　ＣＳでは組長、ＢＳでは班長、ＶＳでは議長・活動チームチーフ等の訓練について記述する。
2．履修認定者：トレーナー

※ 課題研究の有効期間は２年とする。

研修所履修後、１年以上を経過した後にプログラムトレーニングを履修する。

スキルトレーニング（実技認定）
実践ができるようにするので

1．内容：全部門共通
（集合訓練ではなく考査で履修を認定する。定型外訓練と連携可）

①ロープワーク
②地図とコンパス
③野営技能
（野営工作、野外炊事含む）
④通信（手旗、信号、サイン等）
⑤刃物の取り扱い
⑥計測と簡易測量
⑦救急法

2．課目履修認定者：トレーナー
3．認証者：県連盟コミッショナー

※ プログラムトレーニングに申し込む時点でスキルトレーニングは認証を受けていること。

昔は10泊の隊訓練で2つこなせた10泊11日

県連盟

基礎訓練課程（部門別・共通）※1

BS：Green

基礎訓練修了記章の着用可
基礎訓練課程修了　認証者：日本連盟コミッショナー

安全セミナー（１日型）（全部門共通）（研修所履修後１年以内）
参加対象者：ウッドバッジ研修所修了者
履修認定者：セミナーディレクター（トレーナー）

ウッドバッジ研修所（部門別）
※履修者はギルウェルウォッグルの着用可

1．日程と形式：２泊３日（舎営）または３泊４日（野営）
2．履修認定者：所長（トレーナー）
3．内容：当該部門のプログラムプロセスの運用他
4．参加対象者：導入訓練を修了し、かつ課題研修を履修した者
5．課題研修
(1) 内容：教育規程の理解　隊長ハンドブックの熟読
野外活動技能（テント設営、ロープワーク５種程度／要認定）
(2) 履修認定者：トレーナー

導入訓練課程（全課程）

ボーイスカウト講習会

1．日程と形式：７時間
2．修了認定者：主任講師(トレーナー)
3．内容：スカウト運動の歴史、スカウト運動の基本原則（定義、目的、原理、方法）、活動の概要、組織の概要他

※１ 基礎訓練課程修了者は、隊長の資格を得ることとなる。

2015.5.4

次の□の中に入る適当な言葉を入れなさい。

P51

ボーイ隊指導者 隊長および副長の選任 [ ] 条文

3-52 隊長および副長は [団委員会] が任命する。

隊長および副長の任期は [〃] が定める。

CS, VS 同じ

隊を永続させるためにすべての隊で [副長] を任命し特に4個以上の班を編成される隊では，二人以上の [副長] を任命することが望ましい。

男女のスカウトで編成される隊は，[男女] の隊指導者を選任する。

団委員会の任務 [ ] 条文

3-9 団委員会はスカウトの実際の訓育及び教育には [直接] 携わらない。

団委員長の選任及び任期 [ ] 条文

3-10 団委員長は [団委員] の互選とする。

団委員長の任期は [育成会] で定める。

育成会長 —委属状→ 団委員長

団委員長の任務 [ ] 条文

団委員長の任務は次の通りとする。

3-12 (1) 団委員会の [主宰者] となること。

2015.5.4

3-12 (2) 団構成の 標準 を維持し，各隊 の育成に努めること。

↑隊指導者を支援

(3) 団内各隊を 統括 し，その活動に協力する。

訓練への参加

3-14 団委員長をはじめ副団委員長及び団委員はその任務を十分に果たすための団委員長は 団委員上級課程 の訓練を副団委員長及び団

3-14 委員は 団委員基礎 の訓練を終了するよう努めなければならない。

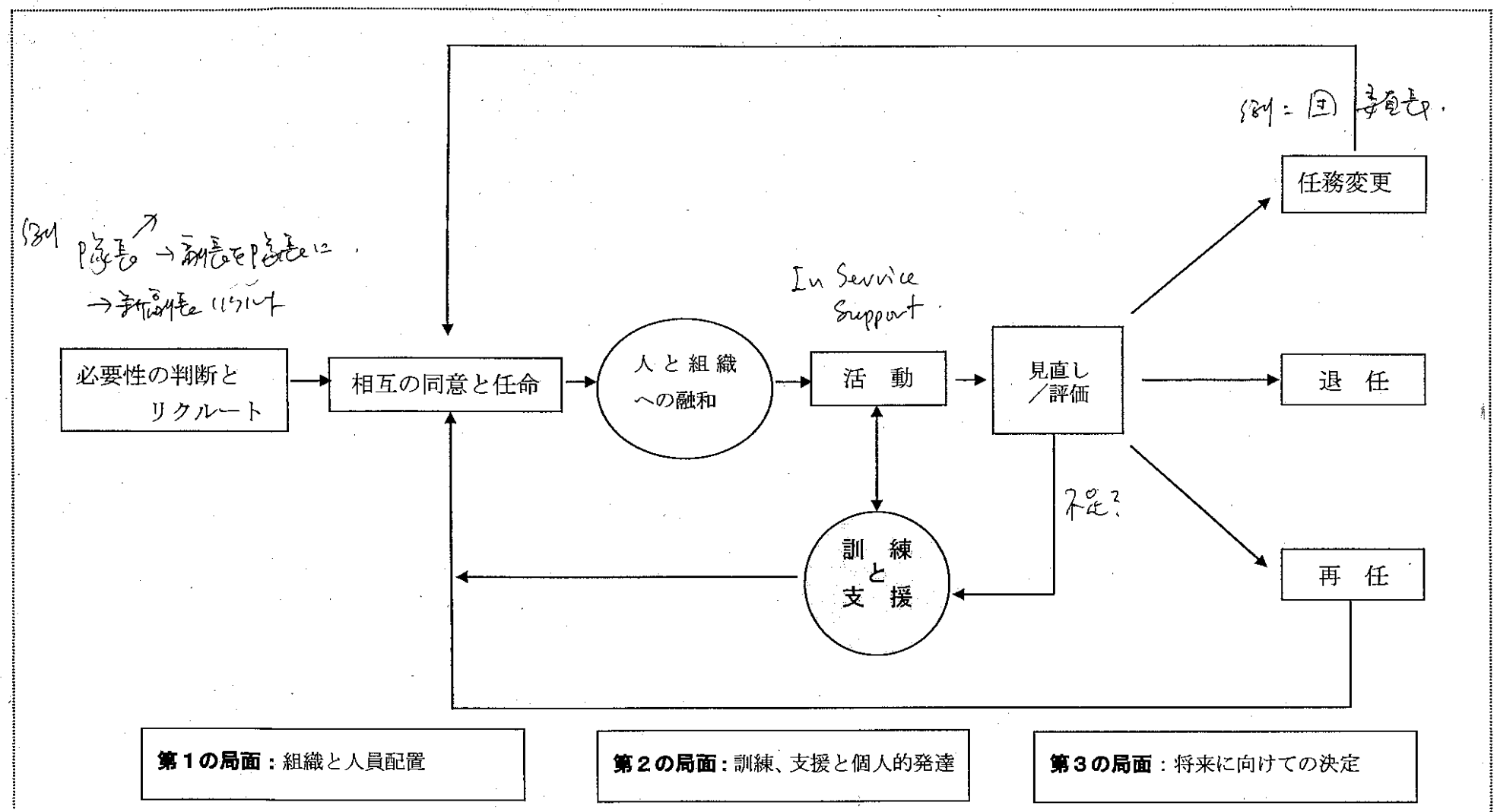
訓練課程

2015.5.4

(五)委員長のマネジメント.

スカウティングにおける成人のライフサイクル

西村仲介



2015.5.4 11:40
高橋

日本ボーイスカウト〇〇連盟　□□第〇団の規約例

＜団 規 約＞

名称、

第１章　総則
- 第１条（名称）
- 第２条（設置場所）

第２章　目的及び活動方針
- 第３条（目的）
- 第４条（活動方針）

第３章　団組織
- 第５条（組織）
- 第６条（(団の運営）
- 第７条（指導者及び団役員の責務）

第４章　団委員会
- 第８条（団委員会の役目）
- 第９条（団委員会の構成）
- 第10条（団委員の任期）
- 第11条（会議）
- 第12条（専門委員の選任）

第５章　団会議
- 第13条（団会議）

第６章　入団・退団及び休隊
- 第14条（入団）
- 第15条（退団）
- 第16条（休隊）
- 第17条（移籍）

第７章　活動年度
- 第18条（活動年度）

第８章　会計
- 第19条（諸費用）

第９章　定めにない事項
- 第20条（定めのない事項）

第１０章　規約改訂
- 第21条（規約改訂）

＜育成団体会則＞

第１章　総則
- 第１条（名称）
- 第２条（設置場所）

第２章　目的
- 第３条（目的）

第３章　組織
- 第４条（会員）「正会員、維持会員、賛助会員」

第４章　役員
- 第５条（役員）「会長、副会長、理事、監事、会計」
- 第６条（役員の選任）
- 第７条（名誉役員）「名誉育成会長、顧問、相談役」
- 第８条（役員の任期）

第５章　会議
- 第９条（会議の種類）「総会、臨時総会」
- 第10条（議長）
- 第11条（会議の議決）
- 第12条（総会での付議事項）

第６章　会計
- 第13条（会計及び経費）

第７章　定めのない事項
- 第14条（定めのない事項）

第８章　会則改訂
- 第15条（会則改訂）

＜育成団体会計規則＞

第１章　　総則
第１条（総則）

第２章　　会計
第２条（会計方法）
第３条（特別積立会計）

第３章　　担当者
第４条（会計担当者）

第４章　　会計年度
第５条（会計年度）

第５章　　収入源
第６条（収入）「育成会費、隊費、入団金、寄付金、賛助金、預金利子、雑収入、休隊費」

第６章　　予算
第７条（予算編成）
第８条（補正予算）

第７章　　緊急支出
第９条（緊急支出）

第８章　　帳憑（ちょうひょう）書類
第10条（帳憑書類）
第11条（書類の保存）

第９章　　決算と監査
第12条（決算と監査）

第１０章　　事故処理
第13条（事故処理）

第１１章　　慶弔贈呈金
第14条（慶弔贈呈金）

第１２章　　参加経費・派遣経費
第15条（指導者に関する経費）
第16条（派遣経費）

第１３章　　定めのない事項
第17条（定めのない事項）

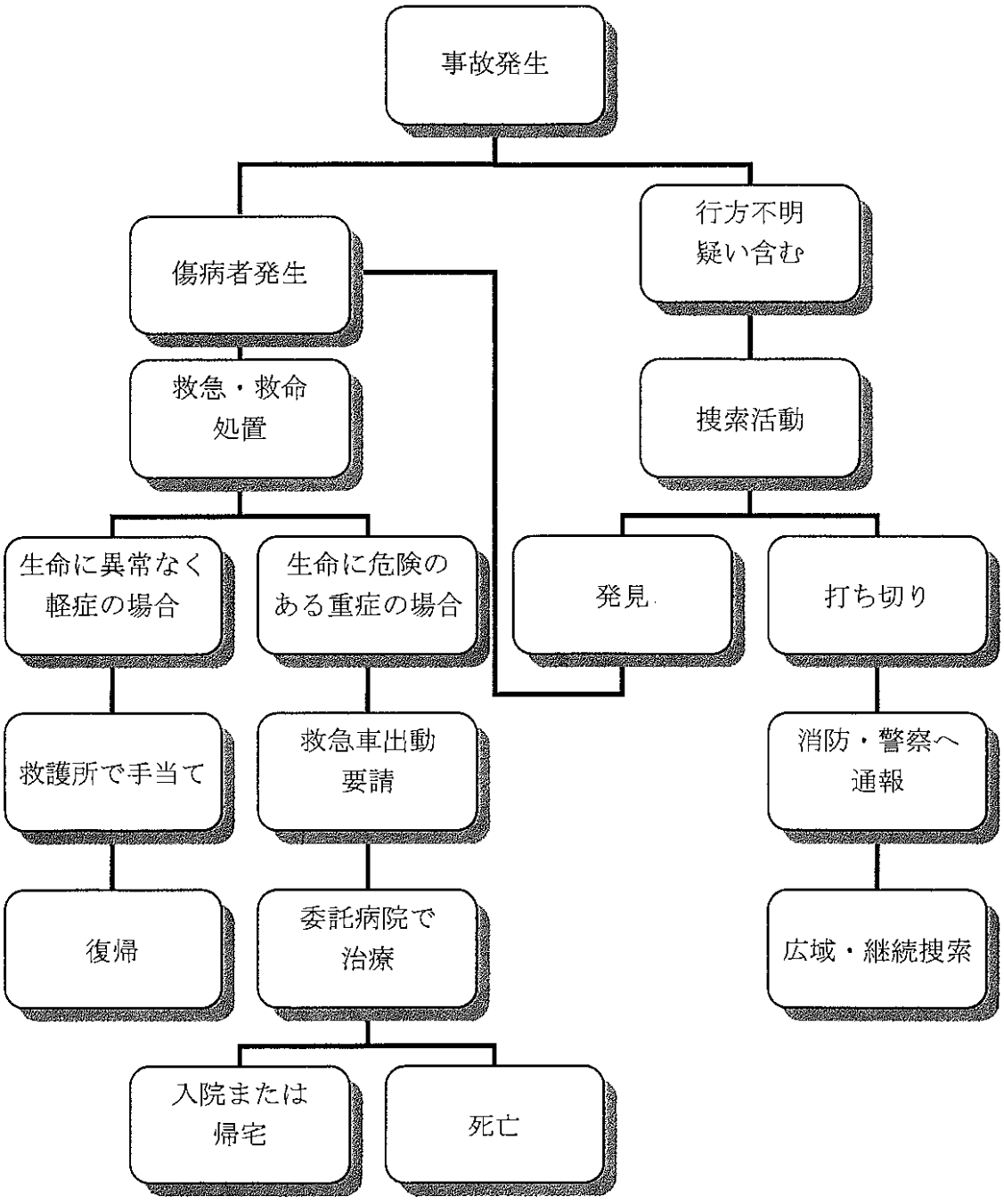
第１４章　　規則改訂
第18条（規則改訂）

＜会 計 付 則＞

１．育成会費
（１）正会員
（２）維持会員
（３）賛助会員
２．隊費
（１）ビーバー隊
（２）カブ隊
（３）ボーイ隊
（４）ベンチャー隊
（５）ローバー隊
３．入団金
４．休隊費
５．慶弔贈呈金
（１）結婚祝金
（２）弔慰金
（３）功労感謝金
（４）見舞金

2015.5.4 13:30

事　故　対　策　図



団の中で考えてみる。団委員会

「指導者訓練コースにおける安全管理ハンドブック」より

2015.5.4
§11

安全対策計画書

計画責任者	(所属)	0	第	0	団	0	隊
	(役務)		氏名				
作成者	(役務)	0	氏名	0			

活動概要	期日	平成 0 年 0 月 0 日 (0) ～ 平成 0 年 0 月 0 日 (0)			
	活動名称	隊集会 ハイキング キャンプ ( )	区分	野外 ・ 屋内 ・ 野外屋内複合	
	実施場所	0 0			
	参加人員	0 人 (スカウト 人 保護者 人 見学・兄弟 人 リーダー 人)			
	活動内容				
	火気使用	有 無	機器名等		
	移動送迎	有 無	方法等		
	その他				
下見調査実施日		平成 年 月 日	調査した者		
担当者	総括責任者 リーダー	氏名	住所	電話 － －	
	サブリーダー	氏名	住所	電話 － －	
	健康安全	氏名	住所	電話 － －	
緊急連絡先	中止判断	いつ	誰が	どの場合	
	緊急避難場所				
	急患移送方法	救急車両要請	サポートカー	その他( )	
	救護施設	有	設備の概要( )	無	
	その他				
緊急連絡	現地連絡先	氏名	電話 － －	施設名	
	団委員長	氏名 0	電話 － －		
	その他	氏名	電話 － －		
救急用品		☐ 包帯 ☐ 三角巾 ☐ 滅菌ガーゼ ☐ 綿棒 ☐ 救急絆創膏 ☐ 絆創膏 ☐ 毛抜き ☐ はさみ ☐ タオル ☐ 懐中電灯 ☐ マスク ☐ 瞬間冷却剤 ☐ ビニール袋 ☐ 使い捨て手袋 ☐ 体温計 ☐ キューマスク			
装備品					
活動地管理者					
医療機関		住所	電話 － －		
所轄消防署		住所	電話 － －		
所轄消防署		住所	電話 － －		

§12　解決への目標の設定

問題・課題	解決への目標
（例）実修所などへの研修参加意識が低い。	（例）ＢＳ隊長とＣＳ隊長には、研修の重要性を理解してもらい、各実修所への参加を促進し、プログラムの改善を図る。 【指導者養成】
問題 ⑤ BS4人 退団	⑥ 楽しくない ・子供たちのニーズもとづいていない ⑩ リーダの高令化 ⑧ マンネリ化
課題 ・楽しいプログラム展開する	~~退団者を減らす~~ ・出席率が高い ・プログラムが新鮮 ・スキルアップした指導者を育成する。楽しいプログラムが提供できる 一般スカウトがBS隊に生れることが出来る団にする

2015.5.4 15:00

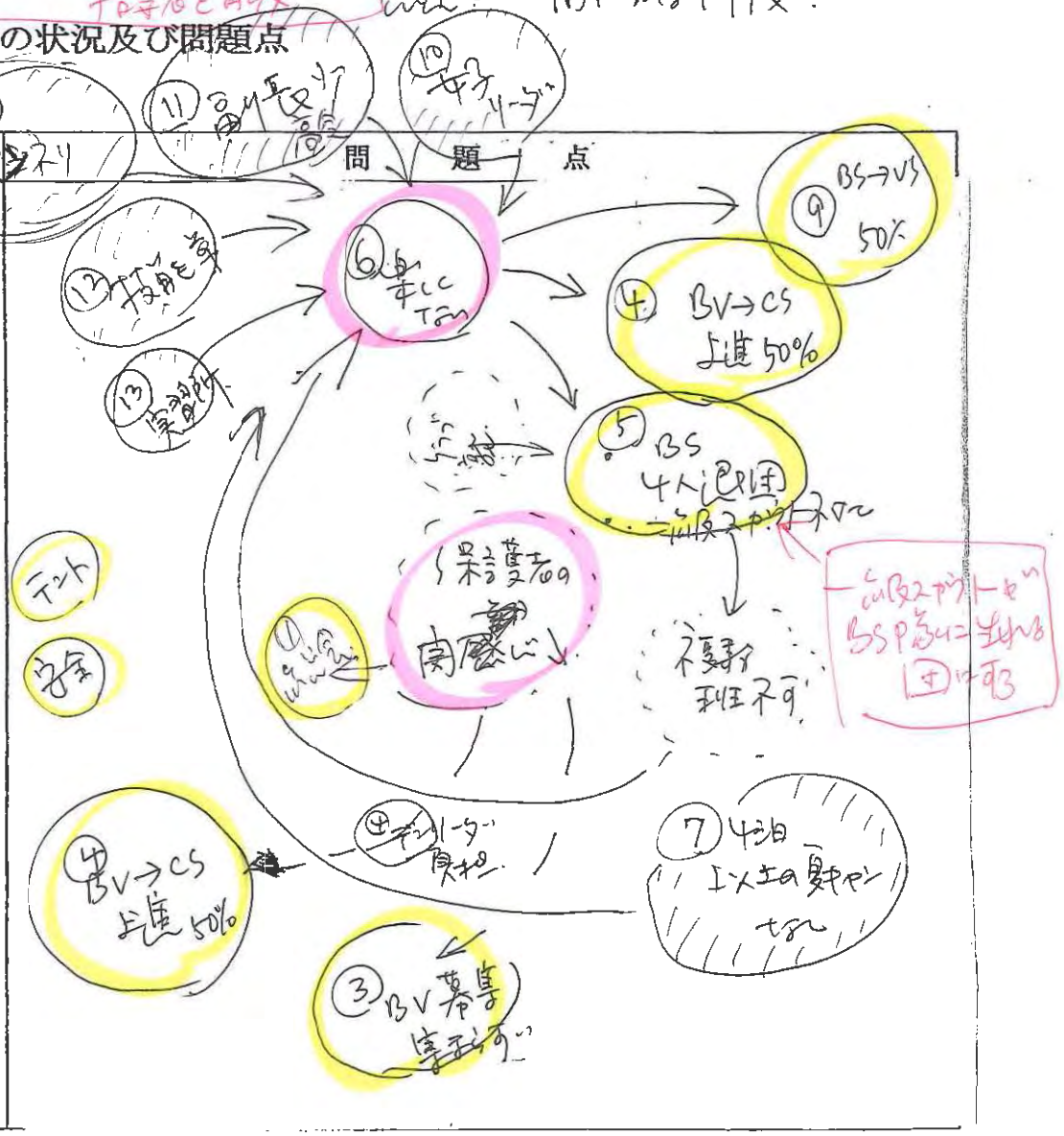
§12　団の年間計画作成資料

1人 700グラムが提供できる 指導者を育成

上期：9月からの新年度

前年度の団事業の状況及び問題点

前年度の状況	問題点
1　団の総会へ出席する保護者の数が減少している。　5人→5人	
2　ビーバースカウトが隊集会で怪我をした。安全対策が不十分	
3　募集活動（ポスター・チラシ・口コミ等）をしても、ビーバースカウトの確保が難しい。	
4　ビーバースカウトからカブスカウトへの上進率が５０％と少ない。どうも保護者がデンリーダーになるのを嫌がっているらしい。	
5　ボースカウトの中途退団が４名（クラブや塾と並立できないとの申出あり）発生した。その結果ＢＳ隊員は９名となったし、１級スカウトもいない。	
6　カブ、ボーイのプログラムが楽しくないという保護者の声がある。	
○ 7　１５ＮＪ以降もＢＳ隊では４泊以上の長期キャンプを実施したいが、指導者・スカウト共に難しい。（仕事・クラブ等）	
8　特にＢＳ隊以上でプログラムのマンネリ化が見られる。	
9　ベンチャーへの上進率が５０％を切っている。	
10　女子スカウトが増加してきたが、女性指導者の確保が難しい。	
○ 11　各隊共、常時参加できる副長が極めて少なく、高齢化している。	
12　技能章の考査に指導者が対応できず、取得者が少ない。	
★ 13　カブ、ボーイの各隊長に実修所参加を要請したが、参加しなかった。	
14　テントが破損しキャンプに苦労した。団倉庫が狭くなり、出し入れが不便、探すのにも大変である。	



§12　2015.5.4　14:40

団の年間計画表の作成プロセス

CAPDo.

① 団事業の状況・問題点の評価	前年度の団全体の活動に対する評価反省を行い、**団が抱える問題点を明らかにする。** スカウト増？ 参加意欲？ リーダ増？ 財務資産？
② 問題・課題に対し、解決に向けた目標（あるべき姿）の設定	前年度の評価反省に基づき、問題解決、事業推進の**目標を立てる。**
③ 目標を達成するための団委員会の事業計画（行動計画）の立案	設定した目標に対し、団の**中長期的**目標である**事業計画（行動計画）を策定する。** 指導者には数年に渡る長期支援が必要 +
④ 立案した事業計画（行動計画）の年間スケジュールへの落とし込み	団の事業計画より、隊運営に対する団委員会の支援として、この１年間に取り組むべき内容を盛り込んだ**団の年間計画表（年間スケジュール）を作成する。** + 地区・連盟 各隊との調整必要
⑤ 団の事業計画および年間計画の団会議での公表	団委員会で作成した団の事業計画（行動計画）および年間計画表（年間スケジュール）を**団会議で説明し、各隊指導者の同意を得る。**
⑥ 団委員会における各隊・隊活動の共通理解	団会議で話し合われた内容が、団委員会で伝えられ、各隊の動きについて**団委員の共通理解を図る。**

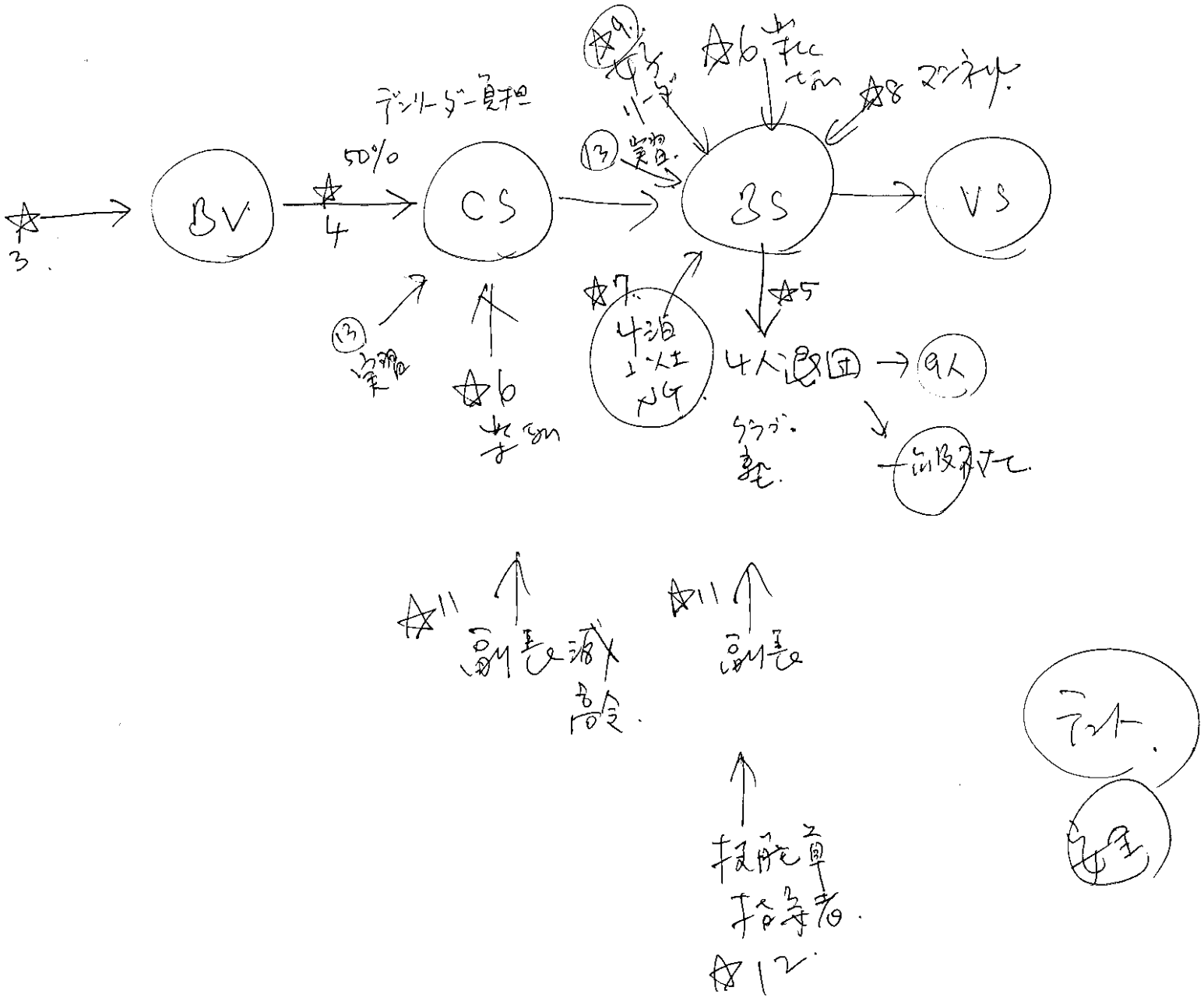
例：実修所 → 2年前に指導習会

2015.5.4 14:50

団の年間計画作成の果たす機能（役割）

§12

① タイムスケジュール
② 予定の一覧表‥隊、団、地区、県連盟、育成会、地域、学校、その他
③ 外部からの支援プログラム（支援リソース） ‥研修、進級面接、スカウト行事、ラウンドテーブル、地域コミ、団訪問
④ 調整表‥隊と隊、隊と団、団と地区・県連盟、団と地域
⑤ 隊への支援プログラム
⑥ 問題解決のプロセス
⑦ 団の発展のためのプロジェクト
⑧ 任務分担表



☆3
BV
☆4
50%
デンリーダー負担
CS
☆6 学ない
(13) 実習
☆9 女子リーダ
☆6 学ない
☆8 マンネル
(13) 実習
BS
VS
☆5
☆7 4泊以上NG
4人退団 → 9人
クラブ塾
一般対応
☆11 副長減 高令
☆11 副長
技能章 指導者
☆12
テント
安全

2015.5.4 16:10

§12　団の事業計画

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
団事業等	1-1	1-2										
日連事業 県連事業								WB研修所CS課程	WB研修所BS課程 WB実修所BS課程	県連盟総会		WB実修所CS課程
地区事業	BS講習会	カブラリー	安全セミナー		BS講習会	BP祭	安全セミナー		BS講習会	ボーイ技能大会 地区協議会		

各隊活動	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
BVS												
CS												
BS												
VS												
RS												

2015.5.4 15:50

§12 解決の目標を達成するための事業計画

団委員

解決への目標(WS1から転記)	具体的な事業(行動)計画	行動の時期	担当者	活用するリソース(県連)	活用するリソース(地区)	活用するリソース(その他)
楽しつのうえいが 提供できる 指導者の育成						
一級スカウトが BSP為に生かる 団にする.						

2015.5.4 17:20

隊のプログラムプロセス

1回総会

ビーバー隊

スカウトの興味と保護者の要望を取り入れた活動の目標 → 年間計画 → プログラム会議 → 隊指導者会議 → 隊集会（月２回程度） → 保護者会

カブスカウト隊

スカウトの要望を取り入れた活動の目標 → 年間計画会議 → プログラム委員会 → 隊指導者会議 → デンコーチ集会 → 組集会（2回/月） → 隊集会 → 保護者会等

ボーイ隊

スカウト自らが目標を定める → 班会議 → 班長会議 → 調整会議（2） → 隊指導者会議 → 班長訓練（1GS訓練） → 班集会 → 隊集会 → 班長会議

ベンチャー隊

スカウト自らが考え行動することを基調とする。 → 隊会議 → 隊運営会議 → 隊集会 / ベンチャープログラム

2015.5.4 19:40

評価のポイントチェックリスト

- □ 全ての事項が十分に報告、検討できたか。
- □ 結論や対応は適正であったか。
- □ 各隊の協働や一体感を損なうことはなかったか。
- □ 各隊長が意欲を持って取り組んでいける雰囲気はできたか。
- □ 団委員間で十分に共通理解できたか。
- □ 団委員会が判断、決定すべき事項は明確になったか。
- □ 団委員の協力や役割分担はできたか。
- □ 他のリソースを活用することができたか。
- □ 今後の具体的な支援行動が明確になったか。
- □ 各団委員が意欲と責任感を持って支援していける雰囲気はできた
- □ 支援がスカウト教育の成果に結びついたか。

大ヤマ　池田BV　林CS　西田BS　若手VS　竜田RS　2015.5.4 17:25 §13

H27年5月　団会議・議題 [BS花背第1団]

1.日時　H27年5月1日（土）　午後7：00～9：00
2.場所　○○青少年センター　会議室
6.出席者　□ 大ヤマ　□ 池田BV　□ 林CS　□ 西田BS　□ 若手VS　□ 竜田RS
□　□　□　□　□　合計：6名

4.議題

（1）　報告事項　～17:35

① 各隊の活動報告

部門	プログラム		参加者数	指導者数	進歩状況
BVS隊	4／10	ビーバー運動会	全員	0+0 4人	進予定
	4／24	1日体験入隊			見学3人→2人 5月24日
CS隊	4／3	組集会	8人(6+6)	DL 00	
	4／10	カブ祭り	14人	5人	進歩
	4／24	1日体験入隊			
BS隊	4／10	隊集会「進級を達成しよう」	全員8人	3人	
	4／24	1日体験入隊	8	3人	4人見学
VS隊	4／24	1日体験入隊 小学校	3人	2人	
RS隊	4／24	1日体験入隊	3人	1人	ビーバー手伝い

② 指導者研修について
・地区主催「ボーイスカウト講習会」
○日程：7月5日(日) 9:20～16:60　○場所：公民館
⊙参加予定者：☑ CS　□ VS 1人　□ BV 1人　☑ RS. Acc.
→費用振込　→費用

（2）　協議事項

① 各隊の活動計画（4/23時点　メール集約）

活動月	BVS隊	CS隊	BS隊	VS隊	RS隊	団
6月	14 ホタル狩り 21 ビーバーオリンピックと野外料理	くま集会 組集会 7 隊集会 21 歴史ハイク	7 GB会議 班集会 班キャンプ 6/14-15 6/14午後	7 隊会議 21 隊運営会議 場所→団ハウス		14 BVS ホタル狩り 21 CS 歴史ハイク 22 団会議 24 団委員会
7月	5 水遊び 19 施設見学	くま集会 組集会 組集会 25-26 野外料理キャンプ	13 GB会議 班集会 7/15-18 夏キャンプ 班集会 28-27 WSJキャンプ	5 隊会議 19 隊運営会議 場所→団ハウス		5 ボーイスカウト講習会 5 BVS 水遊び 25 CS 野外料理キャンプ 28-27 プレWSJキャンプ 20 団会議 22 団委員会

安全 270.

※BS　~~23WSJ~~キャンプは~~25~8~~日に日程延長追加の可能性ありとの連絡あり。15~18

② 1日体験入隊について
・日程：5月24日(日)　9:00～16:00　・場所：鴨川公園
・内容：幼稚園年長～小学5年生までの募集
・各コーナーの準備状況：① BV　② ~~BS~~ RS　③ CS　④ CS　⑤ ~~BS~~ BS　⑥ ~~VS~~ VS
・チラシ配付状況：○○小学校、□□小学校、△△小学校で配付済み

※ 6月度の団会議・団委員会の案内：6月2日(月)　団会議　19:00～21:00
（場所：青少年センター）　6月11日(水) 団委員会　19:00～21:00　OK

花脊1団BS隊　夏キャンプ計画書7月15日

作成日　平成27年5月24日
作成者　須加隊長

テーマ	23WSJをめざせ！最高の思い出作り	活動目標	キャンプ技能、協調性、積極性、時間管理、衛生管理
実施場所	山口県光市・阿知須きらら浜	集合場所	京都駅
実施日時	H27年7月15日～7月18日	バッジ課目	A-1、E-1 、E-4 、E-2
持ち物	キャンプ持ち物		

時間	担当	内容	用意するもの	備考
4:50	須加隊長	リーダー集合		
4:58	須加隊長	加峯副長先発		
5:00	須加隊長	リーダー集合	サポートカー	リーダーとの打ち合わせ
5:10	加峯副長	スカウト集合・個人装備積込	サポートカー	GB打ち合わせ
5:20	班長	改札前集合	青春18切符	班長に渡す
5:31	班長	京都町駅発（西明石行き）		混雑時分かれて乗車
5:33	宇都副長	宇都副長後発		
6:52	班長	尼崎着		会計2人必ず
6:58	班長	尼崎発		切符の管理注意（宇都副長）
7:54	班長	姫路着		
8:00	班長	姫路発（岡山行き）		
9:23	班長	西川原着		
9:30	班長	西川原発（岡山行き）		
9:34	班長	岡山着		
9:47	班長	岡山発（糸崎行き）		
11:17	班長	糸崎着		
11:27	班長	糸崎発（岩国行き）	スカウト弁当	昼食（状況を見て）
13:39	班長	岩国着		
13:47	班長	岩国発（下関行き）		
14:42	班長	光到着		サポートカー合流
15:00	当番班	開会セレモニー 開式宣言 ソング：谷間のキャンプ 隊長の話 団のはなし 閉式宣言		U字型集合
15:10	班長	市内観光のルート確認（団ハウスまで）	地図	
15:15	班長	市内観光スタート		サポートカー移動
16:30	班長	光2団団ハウス到着		挨拶・休憩・荷物整理
17:00	班長	夕食買い出し	食材費	
18:00	班長	買い出し団ハウス到着		
18:15	班長	夕食準備		シャワー必要者随時
19:30	班長	夕食		
20:30	班長	片付け		
21:00	班長	班会議		反省
21:30	班長	GB会議		反省・明日の打ち合わせ
22:00	班長	就寝	消灯厳守	
22:15	須加隊長	リーダー会議		反省・明日の打ち合わせ

救急病院	光市立総合病院	光市にじヶ浜2－10－1 0833-72-1000	
安全対策	隊救急箱・熱中症対策・安全対策計画書	サイン欄（計画書）	団委員長　20150808
団委員長コメント（計画書）	スカウトのニーズによる年間計画から実施する事になった夏季キャンプです。光第1団と山口県連盟の好意によって、きらら浜でのキャンプが可能になり、県連盟キャンポリーにも参加する事になりました。23WSJに向けた啓発的な体験となり意識高揚できるように配慮願います。 常に踏み出し、考え抜き、チームで、働く力を醸成出来る環境作りを。	下見：団委員長、須加隊長	

花春1団BS隊　夏キャンプ計画書7月16日

作成日　平成27年5月24日
作成者　須加隊長

テーマ		活動目標	
実施場所		集合場所	
実施日時		バッジ課目	
持ち物			

時間	担当	内容	用意するもの	備考
5:30	班長	起床		リーダー打ち合わせ
6:00	班長	朝食(お茶水筒)	食材	前日購入
6:30	班長	荷物整理・清掃	サポートカー	個人装備積込
7:00	当番班	朝礼 ソング:懐かしの野営地 隊長の話 注意事項		U字型集合
7:10	班長	スカウツオウン		現班長
7:15	班長	団ハウス出発		清掃点検・宇都副長
7:35	班長	光駅到着		サポートカー合流
7:44	班長	光駅発	切符代	会計担当スカウト
8:48	班長	新山口着		
9:13	班長	新山口発		
9:31	班長	阿知須駅到着		サポートカー合流
9:40	班長	きらら浜へ出発		サポートカー乗車
10:10	班長	会場到着・資材搬入		受付(宇都副長)・挨拶
10:30	班長	設営開始		リーダー支援
11:30	班長	昼食準備	食材配給	現地の指示
12:30	班長	昼食		
13:00	班長	片付け・場内プログラム準備	指示された準備物	現地の指示
14:00	班長	場内プログラム参加		現地の指示
17:00	班長	場内プログラム終了		現地の指示
17:30	班長	休憩		
17:30	班長	夕食準備	食材配給	現地の指示
18:30	班長	夕食		
19:00	班長	片付け		
20:00	班長	交流会		現地の指示
21:00	班長	班会議		反省、予定確認
21:30	班長	GB会議		反省、予定確認
22:00	班長	就寝		
22:15	須加隊長	リーダー会議		
救急病院				
安全対策			サイン欄 (計画書)	
団委員長 コメント (計画書)				

花脊1団BS隊　夏キャンプ計画書7月17日

作成日　平成27年5月24日
作成者　須加隊長

テーマ		活動目標	
実施場所		集合場所	
実施日時		バッジ課目	
持ち物			

時間	担当	内容	用意するもの	備考
6:00	班長	スカウト起床		
6:30	班長	片付け・朝食準備	食材	
7:15	班長	朝食		お茶水筒へ
8:00	宇都副長	点検		
7:00	当番班	朝礼 ソング：愉快なスカウト 隊長の話 注意事項		U字型集合
8:25	班長	スカウツオウン		
8:30	班長	場外プログラム準備		プログラム準備物
8:50	班長	場外プログラム集合		現地の指示
9:00	班長	場外プログラム出発		現地の指示
9:00 ～ 17:00	現地の方	宇部・山口見学ツアー（西コース）	プログラム準備物	現地の指示
17:30	班長	休憩		
17:45	班長	夕食準備	食材	現地の指示
18:30	班長	夕食		
19:00	班長	片付け		
19:30	班長	キャンポリーフェステバル・閉会式		現地の指示
21:00	班長	終了		
21:15	班長	班会議		
21:30	班長	GB会議		
22:00	班長	就寝		
22:15	須加隊長	リーダー会議		

救急病院			
安全対策		サイン欄（計画書）	
団委員長コメント（計画書）			

花脊1団BS隊　夏キャンプ計画書7月18日

作成日　平成27年5月24日
作成者　須加隊長

テーマ		活動目標	
実施場所		集合場所	
実施日時		バッジ課目	
持ち物			

時間	担当	内容	用意するもの	備考
5:30	班長	スカウト起床		リーダー昼食買い出し
6:00	班長	朝食準備・徹営（2班に分かれて）		個人装備は前日に梱包
6:30	班長	朝食	食材	
7:00	班長	徹営・清掃		資材積込
8:00	当番班	朝礼 ソング：懐かしの野営地 隊長の話 団のはなし 注意事項		U字型集合
8:10	班長	スカウツオウン		
8:15	班長	挨拶・記念撮影	カメラ	
8:30	班長	きらら浜出発・挨拶		サポートカー乗車
9:00	班長	阿知須駅到着	切符	合流
9:14	班長	阿知須出発(新山口行き)		
9:31	班長	新山口着		
9:47	班長	新山口発（岩国行き）		
11:50	班長	岩国着		
11:53	班長	岩国発（糸崎行き）		昼食
14:05	班長	糸崎着		おにぎり購入
14:37	班長	糸崎発（岡山行き）		
16:04	班長	岡山着		
16:10	班長	岡山発（相生行き）		
17:17	班長	相生着		
17:18	班長	相生発（野洲行き）		
18:43	班長	大阪着		
18:48	班長	大阪発		
19:54	班長	京都町駅着		
20:00	須加隊長	講評		
20:15	当番班	閉会式 ソング：懐かしの野営地 表彰 閉式宣言	優秀賞	U字形・集合
20:30	須加隊長	解散		各資材お持ち帰り

救急病院			
安全対策		サイン欄（計画書）	
団委員長コメント（計画書）			

安全対策計画書

計画責任者 （所属） 花背第1団BS隊
（氏名） 宇土副長

活動概要	期　日	平成27年7月15日（金曜日）5時00分 ～7月18（月曜日）20時30分	
	活動名称	夏キャンプ	区分（野外・屋内・野外屋内複合）
	場　所	山口県光市・阿知須きらら浜	
	参加人員	スカウト：8名、リーダー：3名、団委員長	
	活動内容	キャンプ	
	夜間活動	あり	
	場所環境	キャンプサイト、施設、電車	
	火気使用	あり（カセットコンロ利用）	
	移動送迎	電車を利用	
	健康調査	当日健康状態を把握	
	事前指導	GB、班集会にて指導	
	その他	特になし	
下見調査実施		平成27年6月19日	調査した者　坊居団員長　須加隊長
担当者	総括責任	(氏名)坊居団委員長（住所)京都市はなせ町2−1（電話)07	
	隊　長	(氏名)須加隊長（住所)京都市はなせ町7−15−15（電話)0	
	健康安全	(氏名)宇土副長（住所)京都市はなせ町光台6−3−17（電話)0	
緊急対策	中止判断	7月24日20時00分の段階で台風警報・大雨警報が出ている場合、あるいは活動中に継続不可能と判断した場合	
	天候急変	周辺の施設、休憩所に一時避難し様子を見る。	
	緊急避難	最寄りの緊急避難場所へ避難	
	急患移送	救急車又はサポートカーにて移送。	
	救護施設	(名称) 光市立光総合病院　(住所)光市虹ケ浜2-10-1　(電話)0833-72-1000 (名称) 光市立大和総合病院　(住所)光市岩田974　(電話)0820-48-2111 (名称) 阿知須共立病院　(住所)山口県山口市阿知須4171番地1　(電話)0836-85-2200	
	救助活動	(名称) 光地区消防組合消防本部　(住所)光市光井6-16-1　(電話)0833-74-5600	
	その他	(名称) 中央消防署　(住所)光市光井6-16-1　(電話)0833-74-5605	
緊急連絡	現　地	須加隊長 090-6056-****、宇土副長 090-7480-****	
	団	坊居団委員長 090-8752-5592(docomo)	
	保護者	ボーイ隊保護者メーリングリストを利用	
	関係機関	ボーイスカウト光第2団 ボースカウト山口県連盟　住所)山口県山口市神田町1-80　(電話)083-928-0079	
活動地管理者			
緊急避難場所		ボーイスカウト光第2団の団ルーム、山口県キャンポリー指定の避難場所	
医療機関		(名称) 光市立光総合病院　(住所)光市虹ケ浜2-10-1　(電話)0833-72-1000 (名称) 光市立大和総合病院　(住所)光市岩田974　(電話)0820-48-2111 (名称) 阿知須共立病院　(住所)山口県山口市阿知須4171番地1　(電話)0836-85-2200	
所轄警察		(名称) 光警察署　(住所)光市中央2-1-14　(電話)0833-72-0110	
所轄消防署		(名称) 光地区消防組合消防本部　(住所)光市光井6-16-1　(電話)0833-74-5600	
		(名称) 中央消防署　(住所)光市光井6-16-1　(電話)0833-74-5605	

		予想される危険	対策(いつ、どのようにするか、等)	担当者
事前調査等に基づく安全対策	活動地及び周辺	交通事故	車の往来や、駅ホーム等での乗り降りに気をつける。	班長、宇土副長
		車での移動中の事故	運転手は安全運転を心掛ける。	須加隊長
		施設内での事故	あらかじめ危険箇所をチェックし注意を喚起する。	班長、宇土副長
		キャンプ場周辺の火災	隊長の指示に従い、安全な場所に移動する。	須加隊長
		嵐等天候の急変	隊長の指示に従い、山口県キャンポリー指定の避難場所に	須加隊長
			避難する。	
	活動に伴う危険	怪我、急な疾病	救急セットを用意する。	安全係、宇土副長
			サポート・カーを手配する。	須加隊長
			当日体調が悪い場合、無理をさせず活動に参加させない。	須加隊長、宇土副長
		熱中症	水筒（お茶）多めに用意する。水分補給をこまめにする。	班長、宇土副長
			涼しい休息場所の確保、場合によっては救急に連絡	須加隊長
		食中毒	食材の管理を指導し、食中毒等を引き起こさない	須加隊長
その他の問題点と対策		刃物による怪我	事前に正しい刃物の使い方を指導する。	班長、宇土副長
			刃物を使う場所を指定する。	
		調理中の火傷	火を取り扱うスカウトを決め、他のスカウトは火に近づかない	班長、宇土副長
			ように指導する。	
		火の不始末による火災	火完全にを扱う時は絶対にその場を離れないように指導する	班長・宇土副長
		ふざけることによる怪我	活動中に班員がふざけることのないよう班長に注意を	宇土副長
			喚起する。	
			単独行動をとらない、班で行動するよう指示する。	班長、
		夜間の遭難	トイレ以外の夜間の単独行動は控えるよう注意を喚起する。	宇土副長
		自然保護	動植物保護の重要性を理解させる。植物を踏み荒らさない	班長、宇土副長
			ように指導する。	
			ゴミは必ず自分で持ち帰るよう指導する。	班長、宇土副長
		活動の遅れ	役割分担、協力の重要性について注意を喚起する。	宇土副長

医薬品リスト	外用薬	■消毒薬 □化膿止め □鎮痛消炎剤 □抗ヒスタミン軟膏 ■かゆみ止め □目薬
	内服薬	□かぜ薬 □解熱鎮痛薬 □胃腸薬 □乗り物酔い止め □（　　）
	用　品	□三角布 ■□包帯 ■ガーゼ ■傷用テープ □絆創膏 □綿棒 □体温計 □毛抜き
	その他	■ピンセット ■はさみ □虫除けスプレー □（　　）

支援依頼事項

項目		7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	備考
サポートカー	個人装備	○	○	○	○	スカウト8名、リーダー3名（須加隊長、宇都副長、加峯副長）
サポートカー	隊／班装備	○	○			テント4張り、タープ3張り、テーブル4台、（炊具＋カセットコンロ×2） 3セット、資材
サポートカー	買い出し	○			○	
開村式		○				
山口県及び現地団	あいさつ	○			○	
現地諸機関	あいさつ	○			○	
閉村式						
食材管理/配給	朝		○	○	○	
	昼		○			
	夜	○	○	○		
リーダー分炊事	朝		○	○	○	
	昼		○			
	夜	○	○	○		
健康安全		○	○	○	○	
ゴミ処理		○			○	
地元連絡係		○	○	○	○	

西田 副団委員・財政　岩本 スカウト事業
林 指養+[illegible]　亀岡 安全・保険
池中 [illegible]

2015.5.4 18:50.

団委員研修所 §13 ワークシート

支援要請の項目	支援要請の概要	当日までの行動予定	準備担当者	当日の行動予定	当日の担当者
BVS 7/5 指養+西田 ~~[illegible]~~ 岩本	亀岡				
CS 7/21 歴史ハイク 小林・大林	1ポケン 亀岡				
評価 団会ギ				改善	
○進歩報告 → 教育 ⇨ 団委会報告 ↳ ていたい → pressure					
○安全対策表の確認 (特に利用キャンプ)				○情報不十分	
○利用キャンプ → 各隊 ボーイ以外出ていない 計画書+安全				○進歩	
○RS隊活動なし → 団委会 →				○	
○5月に 7月の予定出 なし				○	

2015.5.5　8:50

なぜ最後にこのSessionやるの

団でスカウトの募集を定期的に行うことになりました。グループ(団委員会を想定して)で話し合いながら、有効な方法を考えてください。

募集のターゲットは誰か	どうやって広報するのか	どういった方法で行うのか	準備期間はどれだけ必要か	どのような準備品が必要か	協力体制の範囲はどこまでか
○ 所属スカウト 友達・保ゴ者 ○ 学区内の子供の活動場所 ○ 幼稚園卒園生 ○ 近所の子供	○ 卒園式 ・小学入学式 門前 ・地域イベント 展示、スカウト活動PR ・CTV ローカルラジオ PR ・	・地域行事参加 ・清掃奉仕 ・近隣公園 ○ 保ゴ者Comm活動年に云い、スカウト技能 説明 →	生のスカウト活動を見せる 組織充セミナー ・青田購いはダメ 4月年度…にしてれ		

2015.5.5 10:15

（課題）

自分の団を想定

次年度の地区の運営委員会委員として、あなたの団から進歩委員１名と指導者養成委員１名をお願いしたいと地区委員長から言われました。また、地区コミッショナーからは、次期地区コミッショナーとしてカブ隊のＡ隊長（昨年度実修所修了）を考えているとの相談をうけています。地元の青少年育成市民会議からは、役員として団委員長に入ってほしいという打診もありました。団委員長としてどのように対応したらよいか、グループで話し合ってまとめて下さい。

		38	42	富岡	82	
□進歩委員 1	林 1♀0	○	○	○	○	○出おぎ
			→ 委員長			○動機づけ・役分を明確に
□指導者養成	林 1♀0	○	○	○	○	
○地区コミ 副○(2年)×2期	☆	☆	☆			○本人の意向＋団支援
CS隊長 実修所			本人のため			業はしんどい 副長Post・後継者
○青少年						

養成Good, 負担1日, 子供たちのため 同知Good

PR活動に有効・日常の風評・BS精神のPR

○前向き ＝出来る方法を考える
○本人の同意
○NG分担・人材確保・負担分散
○隊
○外部はメリット大きい

外部→行政もある→出ること＝PR効果
裏面＝団への支援があることをremind.

2015.5.5. 8:51

団でスカウトの募集を定期的に行うことになりました。グループ(団委員会を想定して)で話し合いながら、有効な方法を考えてください。

募集のターゲットは誰か	どうやって広報するのか	どういった方法で行うのか	準備期間はどれだけ必要か	どのような準備(品)が必要か	協力者にはどんな人がいますか
◆団本部から半径5km内に存在する、すべての幼稚園年長組と小学校1～3年生。 ◆現在団に所属しているビーバースカウト、カブスカウトが通学する小学校の1～3年生とその付近の幼稚園年長組。 ◆団が所属する行政区にあるすべての幼稚園と小学校1～3年生。	・スカウトや保護者を通じてチラシを配布する。 ・教育委員会を通じて対象とする学校にチラシを配布する。 ・幼稚園を一軒一軒回ってチラシ配布をお願いする。 ・フリーペーパーを活用する。 ・地域限定ラジオ局に広報を依頼する。 ・地元新聞の無料広告欄に掲載する。 ・募集のポスターをスーパーや商店街、病院や薬局等に張ってもらうように依頼する。 ・募集のポスターを学校や公民館等の掲示板に張ってもらうように学校や公民館等に依頼する。 ・募集のポスターを各家庭の玄関先等に掲示してもらうようにする。	・公民館等での説明会 ・公園等を使っての体験活動 ・一日入隊体験	遅くとも3か月前から始動	・ポスター(日本連盟発行物等) ・チラシ(印刷から配布まで) ・パンフレット(日本連盟発行物等) ・各隊のプログラム ・必要経費一覧表 ・活動に必要な準備品リスト ・指導体制の充実度 ・教育のねらいを説明した印刷物 ・場所の確保、借入手続き ・体験活動に必要な物品(火起器、ロープ、テント、シュラフ、縛材、救急セット、他) ・各地のプログラム調整	・育成会 ・団委員会 ・BVS隊 ・CS隊 ・BS以上の隊 ・保護者会 ・地元のメディア関係 ・教育委員会、生涯学習課 ・幼稚園 ・小学校 ・地域の商店 ・地域の病院、薬局 ・公民館、コミセン スーパ レジ.

2015.5.5 10:10 §15

京都連盟役員

団からの人材が供出

役　職	氏　名	所属
連盟長	山田 啓二	
副連盟長	羽生田寂裕	77
副連盟長	柳澤 傳	長岡 2
理事長	篠田 常生	7
副理事長	福原 洋	9
副理事長	田中 公郎	8
副理事長	髙木 清隆	1
[地区代表理事]		
理事(桂川地区)	髙木 清隆	1
理事(洛桜地区)	北川　裕	13
理事(洛星地区)	出江 英夫	79
理事(北星地区)	西村 伸次	82
理事(平安地区)	高島 朗	92
理事(白樺地区)	猪岡 敏一	綾部 2
[学識経験者理事]		
理事(スカウト事業委員会)	津田 繁	24
〃 担当理事	赤瀬 由貴	向日 1
〃 担当理事	高橋 晃一	綴喜 1
理事(サポート事業委員会)	西田 章夫	11
〃 担当理事	前田 正博	47
理事(国際事業委員会)	田中 公郎	8
〃 担当理事	布﨑 志郎	城陽 1
理事(組織強化事業委員会)	熊谷 淳美	1
〃 担当理事	髙林 伸樹	68
理事(マネジメント委員会)	福原 洋	9
〃 担当理事	田中 公郎	8
〃 担当理事	髙木 清隆	1

適切に取り扱い、通信、連絡などの目的以外の使用を禁じます。

・団だけで出来ない大きなスケールで事業を行うとき…

・連盟の役員を務める二隊への対策

2015.5.3

使ってみよう!!

§７．団会議　　ワークシート　「団会議メモ」

団委員研修所　京都第11期

発言者	テーマ	協議内容・協議結果（簡単に）	a～k	団会議で協議	団委員会に報告	団委員会で協議

a：各隊がムラなく進展しているか
b：団内各隊のプログラム調整
c：服装、進歩、ちかい、おきての基準の維持
d：集会所、備品及び集会時間の調整
e：各隊の予算と隊費の収入状況
f：指導者の研修状況
g：団委員会との関連事項
h：地区委員会、地区協議会との関連事項
i：育成団体との関連事項
j：保護者との関連事項
k：各隊の問題点、指導者のなやみ

2015.5.2－2

2

G2

(1) 永井 V14団 京都 BSより 一旦やめた 子供→ 団委員長 転キンのため 受講

(2) 京都1団 おくはら CS→ 学生 30年以上 リーダ 富山 単身 週末 BS

・隊活動 息子 カブ スカウト減少 対応

(3) 浴 宇治 ひがし 団委員長 一度消えかけ→復活 保護者交えた 大きくすること

(4) 77団 大島学 団委員長 岩山 20年 VS 隊長

(5) 伏見25団 中村 子供 ビーバー 退転、転キ

(6) 大阪 岸和団5団 岳 CS副長～隊長 → 団委員 子供 名前だけ登録

Staff Quota Master BS隊長 舞づる第3団 藤川

ボールを使った
↳ころがらない

2015.5.2－3

§1 高橋

Sessionとは
一方 → お互いにやり合う
投げかけ → 答え

・P175 教育規定：団委員研修所
・トレーナー資格 経験
・Group 討議学び
・P202 記章 団委員
・P177 8-13-3 団委員基礎訓練 → 修了章

<Sessionの目標>

・自分の団を意識して参加すること
・Group作業
全員が話せる(意見)雰囲気
・Facebookには投稿しないこと
・学ぶこと

まねる	経験測
10才	成人

↙他の経験

11団	北星42	玉駒4
西田	池東	林

大やが	岩本	亀岡
	82団	奈良

よしひさ、よしのり 甲賀1団

---

§2 武田誠一郎 Song 世界の総長 ピーローリー

(京都1団) 第1回世界ジャンボリーで スカウトから敬意を持って 尊重 名づけられた 1920

「Scouting for Boys」 もの始まりを知る

・B-P 自分がたちでやっていた Wood Craft
(敵会などなかった)

2015.5.2－4

スカウティングの基本原則

H ・~~時計がない~~
・どれの部屋うるさい

○ P70～73
・ビーバー・カブ 訓育 ― 意志、感情を涵養して望ましい人格を形成する
・ボーイ・ベンチャー 教育 ― 他人に意図的

○ P33 日本連盟の・なっとしないと動かない。
一般原則 ← スカウト機構の基本原則
は従っている。

P32 1-3 教育の目的

まとめ
1. スカウト運動とは…
2. 各国連盟は基本原則に準拠
3. 隊・団指導者は 基本原則 + 「目的と基本方針」
WTO 日本連盟

Song－On my honor

Lunch

§3 団の組織 高橋

経験談
・舞づる第6団（地域型 副会議員）
・小5年生
・22才 副長 → 研修 → 隊長 → 団委員長 様々な支援受けた
・隊長 交替

「この道といく」 Song 自分で選んで → 選んだ道だから → 頑張って行こう

スカウト ← 支援・成長が喜び・「スカウトのために」

団とは？
スカウト教育を行う責任を持っている単位

P43 団 3-2 各隊は指導する単位

2015.5.2－5

○ 地区・県連盟は団を支援する単位
○ 団会議と団委員会
P44 3-7 団委員会
P45 3-15 団会議 ― 団の教育 発揚ギ・推進
○ 各隊の活動を 各隊＋団長が知る。
○ スカウトのため。どれだけ成長しているか？ → 団として成長が見られる
○ 各スカウトが
○ 団委員長が教育に責任を持つ
○ ~~一貫~~教育 ビーバー ローバ

○ 育成会 P43 3-3 (§10)
・保護者
・地域 ） スカウト教育活動を維持発展 ＝ 団の継続
・団を財政面から支援 ＋ 指導者を
・京都は お寺・神社がない
・団の経営母体

○ 会 ？：育成会

まとめ
○ 地域社会からの スカウト運動への信頼確保
→ 団の存続が 最重要
○ 不続的発展 → 隊での正しい活動が実施され → 正しい運営がなされていること。
団

○ なぜ団という単位で運営？
1. 各隊 → ~~一貫~~教育としてまとめるため
BS隊のみの団？
2. 連盟・地区からの支援先単位

映画「Session」

2015.5.2 - 6

6

§4 団委員会の組織と機能 / 西村 伸次 (京都47団)

└Trainer 4人

S37.11.24 ちかいの式
七日川小 発団式

S56 第87団つくった.

○ なぜ パックパッ ウォー ?

○ つかみ

○ ~~ぐ~ ちょりぱー → スカウトから「すごい」~~
~~力が~~

○ ~~ぽんぽん 同じもの出す~~
~~- 勝つこと~~
~~- まけること → 誰も出来ない (勝つことばかり)~~ 今まで

3-7.(P44) 団委員会.

○ 月1回 = 正解
「隊活動の支援」 → 隊長 毎月のprogで苦労

3-8 団委員会の構成.

流) 〃 がカブ隊の保護者ばかりだと… 不公平.

育成会長が参加されない → 必要性

3-9 団委会の任務

・キャンプ 下見に団委員 ついていく

・しょうや 余矢ぼう → 漁師

委員会 → 隊長 → スカウト → 委員会

7

団会議 3-15. ≒ 職員会ぎ

- 緒に開く.とだめな理由.

団委員会. ≒ 理事会

① カブ ~ Rover 成長過程.
- 1個人情報.
- リーダを変えて必要あるとき.
- カリキュラムを
- リーダの評価が出来る場.

Cost
¥15,216
¥700 + 1,080
Text
¥Bus 640

3-10 団委員長の選任 - 任期
・ほんとうの団委員長 → みなをだめにする

団
育成会 → 規約 → 団委員長

(2) 基本原則を理解.
(3) 隊長悩みに 前的確に答えられる.
(4) 団委員長こんだん会.
若者が減っている = 社会的ムーブン.

3-12 団委員長任務.
京都連盟 - 1個班/隊が多い !!

3-13. 副団委員長

3-14 訓練への参加

まとめ

・相互に役務を理解して協力.
・スカウト達 基本原則を理解し 団内の人材開発に勤める

マニュアル
共通認識 基盤
があること
→ 研修が出来る.

§5 隊から求められる支援　西村伸次　8

1915.11.1 平安神宮
1916.8 北小松 スカウト郷野営のとき
「湖畔の野営」Song

Song いつも 2曲だけ.

3-54 隊長及び副長の任務(Boy隊)
理長会ギ = GB会議?

3-33 CS隊長 〃

隊長・副長 交替

in service support = 実務支援.
- 団委員会
- 団委員長から〜
- 先輩
- トレーナー
- 地区コミ
- その他

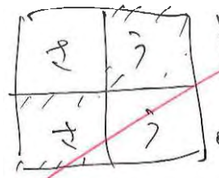
様々な支援.
例 Camp
- 物的 : 食料確保
- 人的 : 食事
- 財政 : WORKSHOP.

まとめ
- 隊長の狙いの(つのづらい)理解 = 支援の内容.
- 団委員 vs 隊長の任務の違いを理解
- 隊長の要せいに的確に応えること → 所期の目的を達成
  → 団の発展
- 外部支援 = 人脈 = 日常の Comm'n = 団委員にも

§6 スカウトの進級と団委員会. 金子晋也.　9

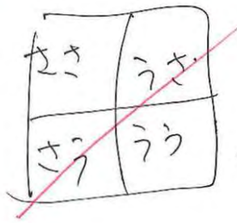
団をつくる 北星地区 岩倉
茨田たけお 72団
のとき CS に入隊 抽せいで…

うさ脳診断
input どうその脳?
output 〃 ?



input ゆびぐみ 右
output うびくみ 左

Izumic Be Studio



+ 男, 女.

3-9 (p44) 団委員会の任務.
(6) 団内スカウトの進歩の促進を図る : 進歩制度.
- スカウト教育 — 班制教育 / 進歩制度
- スカウトの努力に対する表彰 → 認められる喜び
  更にやろう!! という気持.
- 団委員は直接 Scout に touch しない → どんな chance かかわりの
  面接
  記彰授与
  申請・記録報告
- 認定 みとめて決定すること → 隊長が考査・りしゅうを認めること
- 認証 手続が正しくうなれたこと → 団委員の役割.
  例 面接・授与で確ニン

- 一般スカウト面接 模擬 Case
  進歩担当団委員.
  面接はひとりうつ、げんしゅにしてうこと

§6. もぎ面接

- layout
- opening
- おきてしょうわ
- 面接員 ~~機~~ 紹介 (自己長、団長 長、VS、進歩 隊長

○スカウト ○リーダ ○保護

- 武田くんの目標のとりくみ

Q1 ○学校の友人 知っている? → 「はんごう すごいな」
BS, 2.

Q2 1級ちょうせん 一番たいへん?
→ 1級キャンプの 準備・用意

Q3 日々の善行 (はいている?
→ 家で 食器かたづけ
→ 学校 登行 「小学生が道はずれ 声かけ」

Q4 → 班長として どう班をまとめている
前の班長

Q5 困っていること (班長)
手本 ~~千先~~ することでやってくれる 訴い

Q6 がんばっている
サッカー + 体育委員 → 父から両立を考えろ!!
→ 優先を Manage する

Q7: 一級面接
今後スカウト活動希望・期待
→ 英語 + 海外 → 2回 UST 行きたい

- 終了
→ 面接委員 裏で 拍手

- 連立
→ 一級として認める、おめでとう
→ 今後 スカウト章
→ 役業からあがれる存在になって欲しい
→ 本人の今後の ~~

- 「私は良きスカウトになります」

- 認証であり 再考査ではない!! ⇒ 注 7-37.
- 和やかな雰囲気、公平な面接
- 難易なバランスのとれた…Q (生活 vs 進歩)
- 個人 personalized
- 正しい服装 (儀式) げんしゅくな雰囲気
- 大人が十分な関心を持っていると感じさせる

Ref P22「団選と団委会」

7-37 面接の原則

面接の意義 from	スカウト
○「 」の進級を認める」	→ 自信と勇気
○ スカウトに 1言葉としようさい	→ 名誉とほこり.

7-39 面接の節.

記載授与. 隊長→父母
- 早く渡してあげる (面接後)
- はげまの場とする (えんまの印 + ほこりと自信) (他のスカウトへの進歩 促進)

Trade off にならないように

§6.

個人記録をつけること

- 主流 CS→BS→US→RS で途切れないこと.
- それぞれの隊長が申し送りできること
- そのために、記録は団が出来ないとダメ

ex) 小学校 → 中学 申し送りない

報告

団委員会 進歩 ← 隊長

- 隊長の努力が認められ、motivation
- 団委員の感心が高まり(各個人への)

進歩制度：あくまで自発活動が中心

進歩記録がスカウト活動でない

まとめ. 団委員会と進歩

1. 「認証」
2. 記録. 管理 → 一貫スカウト教育.
3. 言 授与. 顕彰は隊の重要program.

その機会を提供すること

---

§7. 団会議 武田誠一郎

Song：楽しく

まどい 団居：円をつくって楽しく集まること

団委員長の立場で考える

- 団会ぎでいかに ~~[illegible]~~ 要請を引き出すか？
- 進歩
- 指導者
- 保護者の声

の状況を引きよげ → 団委会に報告するもの

団委員会と同時開催？ why?

団会ぎ 協ぎ 第項

- 団会ぎ 協ぎすべきこと
- 団委員会へ報告すべきこと → 逆もある
- 〃 で協ぎすべきこと

P29

a 各隊がいうなど進展？ 到達+進歩制度

b 団内各隊の700ら云調整 → ・pgm 一貫性(例 上進に向けた努力)

c 服装、進歩、ちがい、おきて ・イベントで上位スカウト あこがれ.

d 集会所、備品、集会時間の調整

e 団内各隊の予算

f 指導者研修

g 団委員会と

h 地区

i 育成会

j 保ご者 → ? ・B-P祭に呼ぶ ・活動報告. ・保護者会.

k 各隊の向・なやみ → 開催.

グループ作業 「モギ団委員会」 ドラマチック.

1. ギジョク.
2. グループ作業 [ ] + A~Kに分類

要請事項

BS — 夫母 到達 隊

A 2級 OK → 認証

進級面接 → 日程 翌(日) am 11:00~ 登録地域後

ビバー さらい母 西谷 ヒミツキチ → 安全面

キケンカンリ者 2人委員 → 我国団委

計画表

ローバ：同日 近くで集会 → 応援 9~11:00 2HR

RS隊 11:00~ 早めに行ける協力すべき

RS+ 団委員協力 → 新団委員会

CS 変キャンプ、資材
◎に穴
やみなべしたい 1つ Buy
いくらぐらい → 同じもの 1万円
(VS)

他の隊
BS → 使わない
VS → あったら使う
ヒーバ → 大なべ ないでもいい
使いましょう

RS → 文化 バザー
もぎ店 OK
Buy 以前

団 予算? → 使っていない
他に?
ビーバなし
BS — なた2J
新
4000円
+
大なべ
1万円
⇓

委会

RS BCW BS講会 10/8〜参加させたい
VS → 10/8 となみ町公民カン 9:30集合
場所副団

RS
参加費補助? → 全額 OK → 指導委員
↓ 受こうこいがまえ
↓
RS隊長

整理

団会ギ
- 各隊活動予定 → ビーバ隊ヒミツキチ安全] 十助.
  → RS隊集会
- 集会の計画表 → 安全 ヒーバ
- 資材が欲しい!! *

団委会報
- RS隊 BCW BS講会 10/8〜参加.
  → 参加費補助 + 申込.

団委会協ギ
- BS隊 ACWの進級面接 日程 翌日 11:00〜
- さ来月 ヒミツキチ キャン管理 2人委員.
- 資材 大なべ 1万円
- BS なた2J 4000円 ・*

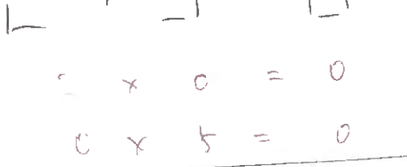
まとめ
同じテーマだが協ギ内容異なることあり

手伝い通り
- 安全・緑性 → 明朝 雨天時?
- 点検.

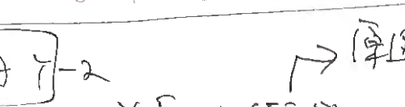
今日の話題
理解度 OK.

§8 団委員会の事務と業務　試験　16

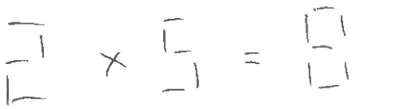
ゲーム　マッチ



1手



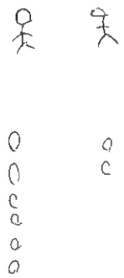
3 + 8 = 5



× 0 = 0

0 × 5 = 0

- スロウ ダウン
- 右手3本指, 左手2本指
- じゃんけんゲーム



なべ作り 7-2

- なべの必要性(なぜ)　→ 原因を話し合い 団委の結論. ↘ がマンさせる 購入.
- 使用目的・予算・作ったもの
- 今後の管理方法

予算するのか?

私学理事会

学校的発展

地域・行政とのつながり.

事務局会議

担当 団委をつけるだけでなく
- 新任の委員への「ゼロの主担当としての学ばせ」を重視

日本栗

3-9 (P44) 団委の任務 ・団の存続を維持し発展させる
3. 団員の用意.

信を通わせる = 「通信連絡事務について理解」

よる団の事例　よる神社 (学校団ではない)

団委員会の事務と業務　17

- 団会計処理の基本事項
  - 前提　Sponsoring body (例:ライオンズ)　・正しく明らか
  - 会計の基本　Accountability 説明責任
    期間・出入金・記録
  - 会計構成 科目.
  - 記録と説明責任 → 会計監査
    ↳ 引きつぎ不能なもの.
- 団の備品・資産管理
  - 前会計からの資金を有効に使い・土地建物・資産
  - 将来への積立. ハウス修繕. Jamboree準備 = 3/5.
    団産目録 Better (写真・location かつ).
- 入退団事務 → 退団は団の運営の問題点を見直すこと.
  → 日々の ジャンル

2-15, 2-16 登録・入退団の事務.
4/1 ～ 3/31. 年度.

- 地域・行政とのつながり.

まとめ
- 事務処理 迅速・正確
- 会計: 正しく 明らか
- 備品・資産 → 団委員会の責任
- 入退団管理: 迅速.
- 通信事務 迅速: 行政・区内への会場借上・補助金 常に安定.
  → 団の課題.

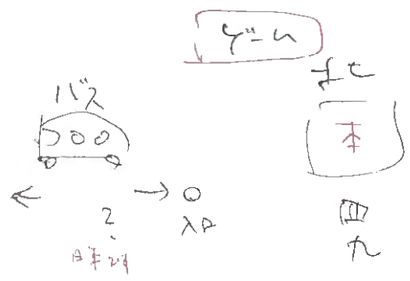
団外 支援団体 ✓ 児童館 なんとか
→ 地区が知ってしまったらどうか?

保護者への期待に答える活動を.
「うちの子供は学校はXだが…家だけは」

中長期 (数年先) 何?
資源収集 (比較) → 5年

10=10 §10

ゲーム



Song 草津よいとこ
たゝ ゝダ
たゝ ゝダ
ゆタ

§10 隊指導者と団委員会. 西村仲次

"Adult " 日蓮 download 「指導者養成に手引」

スカウティングにおける成人のうけもち

自団の隊長・団委員 → 参加をうながすこと!!

貴重 Golden week 雨で良かった

隊の長?

まとめ.

- 隊集会における団委員会 → 隊指導者の選任と養成 (常に至る)
- スカウティングが成人 → 同意・任命 人的 Mgmt 最重要.
  うけもち
  in Service Support
- 団会・団委は 品性・知・技 → Mgmt 研修
- 隊リーダへの必要な訓練の提供.
  - 定型
  - 定型外 : Round Table, 団長こんだんかい

11:20 §10 親父会と団委員会. 高橋

もしもし

止めたら出手会

↳ もしもし

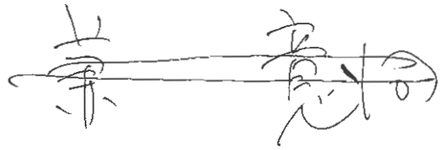
善投のスカウトしている → 多くある

一般の人知らない → 宣伝.

つばみ 口結び 夢をかなえよう!!

口 くち じゅう 表 裏

- 親父会長死去 → 休団委員.
- 親父会



(P31.)

資金.

- 既成の団体 → 地域・学校・ローバー
- 〃 別の外部団体.
- 新たに.
  - 団 教育
  - 青 経済団体.

Group work

発団までの Sequence を ペーパー Sort する. → P38

辞める → 自衛隊 大学 → OB会. UTurn.

↘ 隊指導者リーダ 教育

pgm 楽しい やはりやる ビーバーこと!!

3-9 (P44) 団委員会の仕事.

自団における親父会と団の関係をcheck

- 親父会長 = 団委員.
- ✓ 団委員長 選出は親父会が行っている?
- ✓ 親父会総会が毎年 で団委員長が活動報告.
- 〃

まとめ

BV 卒業 → 団委員

3年前から BV 卒業者に渡って

→ 主導的な団

- 自分の子へのインターネット

主導的市会議員等.

発団後?

OB会?

総会?

BV→CS 100%上進

月1回 → BV 22% 16 CS 14 28 CS→BS

BS 12 VS 7 RS 13

BV 入りやすい

- フェスティバル
  - 隊 → PTA → 幼子 小学.

Home page

- 10月 11月バザー 12月 Xmas 1月 音楽 2月 B-P祭

90% 入隊

8月 (隊ごとの夏祭り) CS = 百人

親父会の役員 ひきうけ 変わり

8/11 安全対策と危機管理 川口哲生

62人 ┬ 60 子
└ 2 ♂

夢のある → 学ぶものがある → 指導者 → ～がこいい
夢を持っている
道歩いても見られている!!

→ 計画 → 振り返り → 修正 ができる。

夢 ○ 描くことで実現度高まる。
○ 野口 小学校 宇宙飛行士

Bv → CS → BS → VS → RS になるものあたり前。

□ Trainer 65まで

安全対策会議

○ 「こいつ」なことになったとき … どうしようもなくなる。

○ 計画書
下見 ┘ のない行事は NG!!

↳ 報告書を団委員が確認、行事承認すること。

全国りん そうさい

□ 決めた時間に帰宅しない → 警察にTel
保護者
∵ 父兄とのCommin

キ団委員長新聞ふれも

安全の3原則 ① 教 ② 対策 ③ 責任

① 安全教育の3要素
知識 + 技術 + 態度
ルール

↗ 大人も子ども

○ 以前行った場所だから… 同じ行こう → NG

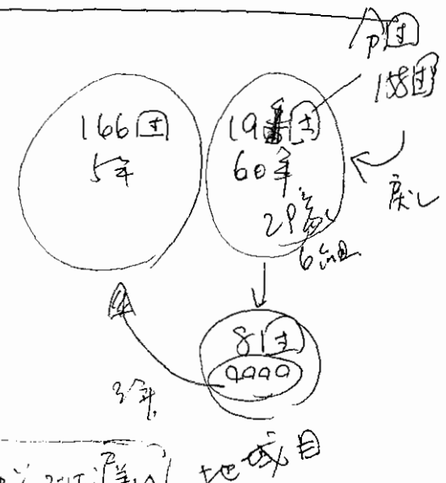
○ 危機 → 連絡網があるか
甲賀市 教員主催事業 2人死亡
ビーバ 水難 → NG

課題

通常の場所以外での活動時、安全対策 確実 団として、手順

○ 予測される Risk.
○ Risk 回避策 ─ 下見 危険箇所.
安全対策.
~~○ 緊急時を想定した連絡網~~
○ 事故対策
○ 記録.
○ 連絡網
~~事故 Risk~~
○ 安全教育
○ 指導者の認識を高める.

共通様式を活用して.
スカウト個人登録票.



↳ 下見計画書
↳ 〃 報告書
↳ 安全対策 計画書
↳ (個人)健康調査票 ← 正確にかいてください
∵ アレルギー 食物 (ソバ 玉子 …)
Risk Mgmt Seminar. 動物 → 危険な → 怪しい.
↳ 書類の作成責任者 → 提出先 + 提出期限
ex) 入山届. 所在. 県外旅行申請
↳ 団委員会 実行. 誰が許す?

⇒ 全て 自分の身を守るためです!!

§11 安全対策

Q

① 安全教育・実施責任

隊長 → 班集会

スカウト

② 本質 知識・技能の訓練に他ならない

- 団としての責任とれない

出来ること

- 出来ないこと → どうすれば出来るかを考えること
- 人として最善

H27 赤十字 宛先・救急

5/31
6/6
6/7

自転車事故

8000万
ヘルメット
2015/4月 ～ キビシク
携帯

14:30
§12 団の年間計画 武田

↳ 3年予定表ではなく ある目標に向ってつくるもの

P17 1. 団の存続を維持、発展すること

$\boxed{\text{団のVision・中長期計画・あるべき姿}}$

- 隊支援計画
- 高度な調整

1 自団の現状把握

- スカウト増↗↘? why? ①
- スカウト・保護者の参加意欲↗↘? why? ②
- New leader ↗↘? 研修↗↘ why? ③
- 財務・資産状況↗↘ why? ④

2 課題を問題 → 解決策 検討+決定

3 年間計画

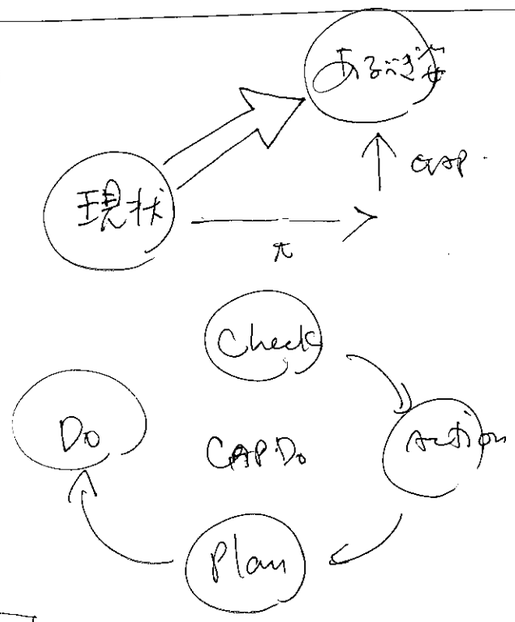
4 by whom が明確?

① ・programが面
・リーダ Commun能力
・地域がかわりあり 告知

⇓

課題
↓
3年先 各年の計画

演習



解決策

まとめ

- 団委 各隊の教育が円滑に
- 「中期計画」が Base → 年間
- 年間計画とは 団発展のプロジェクト + 問題解決のプロセス + 隊への支援プログラム
- 地区・県への外部資源を計画的に適用

注

今迄についての問題 → 過1~3年前の計画に
迄2回

→ 3~5年先を見据えた計画が必要.
CAPDo をまわしていく.

---

§13 団委員会 + 団会ギの運営　　武田.

△ 指. 上にうちかす…
もしもしカメ.

片手で32まで数える.

2進方で 14 ケイレイ

---

1 団会議 模疑体験. → ギジロク → レジメ

フロウラム　団経営.
団委員会 模疑体験.
↳ 団委員会 支援行動計画.

振り返り. 評価　← 隊への支援 [ブルーキ / アクセル]
= 団委員の責務

- 今日 5/1　7月の各隊活動計画
団委長メモ + レジメ.

~17:32 食料
45 配役決定

7:35

団会ギ

18:45 再開. 団会ギ.

○ 団会ギでギロン

○

G作業2 ○

書き2.

○ 予算書 → レンタカー.

○ 団会ギ

7/5 安対クラ計画 ~~5月~~ 6/11.

団ハウス VS. 6/21/9/19

レンタカートラック 2t ×1 → 集合場所 交通費

○ 支援.

○ 県外 ~~[illegible]~~ 旅行中
BS → 団長

○ レンタカー

○ 活動計画

先2団長.

団長..

サポートカー移動

G 活動 III

団会ギ. 団委会　評価. 改善.

団委長の引き出すこと

§13

まとめ

- 各隊支援 円滑 → 団 ⇄ 団委 定例開催
- 団委員長 両方の会ぎ運営
- 〃 判断力。
  隊指導者への意欲と責任感を高める

- スカウト教育の成功
  隊と団が一体となる。

部屋の点検

- 21〜21:30ふろ。

今日の話題

質問用紙 一全員で共有したいもの。

- 包括的意見・団委員
  Role play cycle → prep感じゃ
- Shock 団の年間計画 Vision
  → しょって立つこと
- 募集活動

団運営方針 『こんな団にしたい!!』
各隊長「 〃 隊 〃 」

谷口平八郎さん

(700円)

2015/5/5 朝ネレ

- コンビニの会 文づくが描けない

- CCCC → ムカデ競争
  CCCC → 〃
  Game モーフ目かとし 右肩 左肩 stop 進め

§14 スカウト募集 西村伸次

「安勢を正し …よろしく…

スカウト活動 = 真険しよう魔の
けじめ。

例: ケンドウ

- アクションSong
  ↓
  リトルペッタエラガップ。

運動の主役は who? 本尊スカウト
(注) リーダ飲み会で飲めるのは Scoutのおかげ

適正な人数	ビーバ	16
	アグ	8人×4 = ~~32~~ 24人
	BS	8人×3 32
	VS	24人
	RS	8人× 24

日本運営スカウティング

あなたの団の
今の人数
来年の人数
5年後
10年後

抜けている学年?

団委会 計画的募集
- 誰が いつ どこで どの様に
- 100%の上進率

Q&A

Q1 登録業い

Q2 §9
団委員 → 任命している
隊長 副長 ゆだねる

Q3 育成会の仕事のすすめ方
P33. 育成会の役割
予算カンリ(育成会)
団の予算書
資金の管理。

Q4 §11 安全・危険
- 事故・連絡網
- 発生する前につくること
- 保ゴ者 + 団委員と共用する

2015.5.5 28

まとめ

1 保護者に安心感

この運動の狙い

子供の成長に貢献?

必要経費

保護者の負担 → 全て共働き

活動時間 → 忙しすぎる

売り

・International

団の日常のあり方大切

生の活動を! 風評!

大人同士のもめ事・事故が耐えない…など

→スカウト離れの原因

毎年Constantに8人がBest

but ある人がいる → その年代がバッと増える.

---

§15 団への支援 高橋 2015.5.5 10:00

「安勢を正し …よろしく…」

じゃいけんゲーム 見方を変えるとたくさんある発想

しゅうまい じゃいげん

・えび

・かに

・いか

京都(府)連盟 = 県連盟は誰で構成されている?

4-1 (P57) 都道府県連盟 ←加盟団

5-1 (P62) 地区 ←加盟団

Group Work

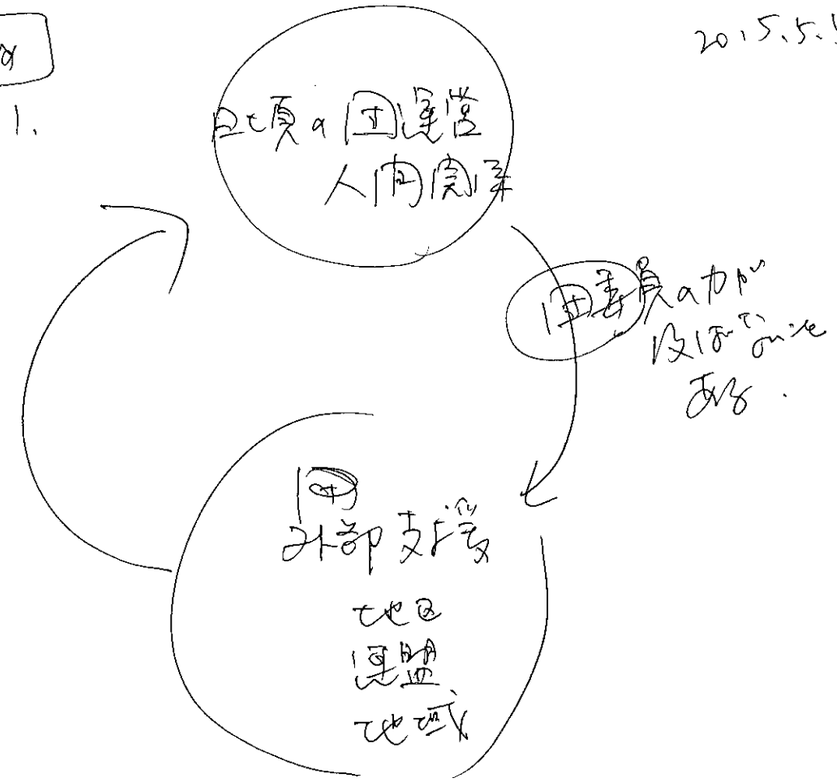
幸福状

- 役務を明らかに
- 出席すること、

2015.5.5 10:55 29

まとめ

1.



2015.5.5 11:00.

31

Q&A

- 発団のプロセスわかった
- 逆に 合同・合併のプロセス

111日 廃退・休団

車ぶん → 子供いない

今は リーフレット にうそをついている。

合同 → 「なぜ？」 → 地域見せる
活動体をつくるため

新団つくる？ 合併？
↑ たいへん
↑ 手続きはeasy

・あるべき姿・期間を決めて（3年後）
- 地域の児童数もひとつのデータ
→ 今後の存在感のあり方

地図コミ・楽を使え!! How to manage?

（1+1は2にならない）

西村
- 新団 better
- 国 人口予想 → google わかる → 5年後 予想できる

青田貴い 池中 募集
- ヒーバ 小1〜小2

低年令化
3才までに習い事
→ 小1 遅い

西村
小1からのpgmしか用意していない → ビーバpgm
教育キテイ → 印ちえんのホボがいる団しかだめ
小1に入るときの方が集めやすい → 年度変更
・先が長い → ずっとめんどう見れるか？

- 5人の友人（才2年）
- 周とうな準備
- 長期計画
- 募集アイデア

- Note 忘れた!!
- 歯みがき忘れた

30

メール アドレス（できるだけパソコン）	氏名
kenji-i@ceres.dti.ne.jp 090-1151-0851	岩本件司
a-nissan@iris.eonet.ne.jp	西田章夫
bsnarabp@iris.eonet.ne.jp 090-3948-7408	奥岡晶幸
ikenaka@biglobe.jp 070-6460-5081	池中伸幸（京都第42団）
PC h-ymkym@m3.kcn.ne.jp bs4y.hayashi@docomo.ne.jp 090 1588 9510	林好治

facebook
・グループ多
・ページ多
応用できること

JIMDO.

FB - いいね FBIDなくても見られる
地域, QR

指示
- 本ずつ 押っていく
- 出来た順
- スピード

スカウツオウン 5/4. 27.5

花は香るよ 花の香に

○ 花は自分の香りを出している →

日はかがゆくよ 日の光

○ 自分の力を出せよ

スカウンオウン 5/5

○ 感謝才の気持

年間の目的